

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-93)、
廃棄物管理施設(68)、MOX燃料加工施設(2-53))」

2. 日時：令和5年8月29日(火) 13時30分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審
査官、上出安全審査官、武田安全審査官、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他6名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年8月24
日及び8月28日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・次回審査会合における設工認の対応状況に関する説明
- ・溢水による損傷の防止等に係る対応方針

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設工認申請の対応状況のうち耐震については、追加調査を必要とする理
由や目的を明確にして検討の全体像が理解できるよう説明する。閉じ込
めについては、作業の全体像を示した上で要点となる事例を示して作業
内容や進捗状況を説明する。
- ・溢水による損傷の防止等に係る対応方針については、設計上の考慮事項と
評価での扱いの関係を整理するとともに、申請対象設備の分類及び構造設
計等に係る整理への対応に限らず、全体の進め方を整理することとする。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年8月24日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年8月28日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	公開しましたイセヤマグチ、それじゃ、K-NETのヒアリングを開始しますと話したヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設、また、
0:00:14	令和5年2月28日に申請があったも複数燃料ゴコウ施設の設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:24	ヤマザキ成長出席者を紹介いたしますと本庁会議室からコサクハバサキキシノフジワラオカタジリ。
0:00:34	オノ、ヤマグチ、その他WEBから、
0:00:38	カミデタケダオオハシヨコヤマ。
0:00:42	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の法制を説明し、その資料について説明を開始してください。
0:00:54	はい。
0:00:55	日本電源等ございます。
0:01:00	紹介いたします。
0:01:04	ケツク。
0:01:07	イシハラ。
0:01:09	あとウェブから六ヶ所からですけれども、Steeringチームイシグロ、
0:01:15	再処理及びMOX事務局、参加させていただいてございます。
0:01:20	本日ご確認いただきました資料でございますけれども、即日、ご提出いただきました審査会合資料、
0:01:28	そのあと、議事担当の新宅川手議員溢水による損傷防止等による赤枠共通住民の対応方針についてご確認いただく予定となっております。
0:01:41	それでは審査会合資料の方から、ご確認いただきたいと思います。
0:01:50	ご確認いただきますのが昨日提出させていただきました設工認申請の対応状況について、
0:01:57	サカイ5ヨシダのパワーポイントの資料でございます。
0:02:01	こちらの昨日ですね、すいません昼ごろにですね、ちょっと追加ですみません差し替えて提出させていただき、
0:02:08	けれども、そのバージョンというのはの方は異なっております。
0:02:12	耐震パート、特にアノを補足して、こちらから口頭で申し上げることは特にありません。江藤2ぽつ方は何かですね。
0:02:27	すいません、ご確認よろしく願いいたします。
0:02:33	先生山田先生とそれが耐震につきまして、確認ございましたらお願いいたします。

0:02:41	規制庁上出ですけど、耐震は中身に関しては昨日もヒアリングをしていて、ここの中についていうことは、
0:02:52	言えますが、
0:02:54	資料でいうと、4 ページ 5 ページぐらいは今までと一緒に、
0:03:02	6 ページ 7 ページが一応金曜日の進め方冷やを
0:03:08	踏まえて
0:03:11	ブラッシュアップしてきたってことなんだと思いますけど、こういうところがポイントだと思って直してますぐらいの説明はしてもらいたいなと、作ってます。
0:03:20	フジタ
0:03:24	ポイントといいますかどういう形で、
0:03:29	ところの後にすいません対策です。
0:03:31	アウトラインというか、見た感じ何も直ってないんです。
0:03:38	記載を整理しただけで、
0:03:40	内容の拡充は何もないんですけども、
0:03:43	考え方を整理しろというイメージしろと言ってたはずのものが、植生の削っていっただけで、追加のものが何もない。
0:03:54	定年の方でございます。進め方議案の際の議論も踏まえまして、我々ちょっとこういう
0:04:04	のでということで、申し上げますと、
0:04:09	まず 6 ページ、7 ページにつきましては、情報量と知っては確かに今おっしゃった通りに減っているということではございますけれども、
0:04:21	要するにここは何を言いたいのかのポイントを明確にすることが大事であると。
0:04:28	ということかなというふうに考えまして、6 ページ目のところは、これまでの反省点、それから 7 ページ目のところはアノは、
0:04:38	これを踏まえた、こう書いて、全体計画を策定して、外部の小シンボを踏まえてやることにしたという、何を言いたいのかがちょっと明確になるようにと。
0:04:50	いうことを踏まえましてちょっと情報が前の時が多すぎて、ちょっと塩末節が過ぎたかなというふうに反省いたしましてこのような形で、訴求するところを明確するというところでやってきたところでございます。私どものちょっと考え方としては、
0:05:06	そういう考え方で今回直してきたと、いうことでございます。現在ケツクでちょっと補足させていただきますと、全体計画のところ今、6 ページ 7

	ページやっております。全体計画としましては、この 4、4 枚もので全体で全体計画、
0:05:20	であるといったことでワンパッケージということを目指してきた。
0:05:23	以上でございます。これは先ほど言った反省点もそうですし、7 ページのところ、出るゼロスタートというか、1 からちゃんと作り直すということをやちゃんと明記、明確にするといった点。それから、
0:05:36	この時点において全体計画を示す時点においても、追加の調査が必要であるといったところを明示するところが大きなポイント、7 ページのポイントかと思います。
0:05:49	8 ページのところははっきり言うのですねすいません。
0:05:53	以上で、浅田です。八、九まで含めての計画だと言われるんだったら、八、九も行っていたいて、
0:06:00	8 ページのところすみません、これ資料あまり変わってませんけどここは日本医師の抽出のところであります。実際の規制の審査会合説明するというようなところをご説明したいという、
0:06:17	思います。それから、9 ページのところ、ここが少しブラッシュアップしてきたポイントと、我々のポイントだと思っております、前回の説明内容、今回説明することで次回、我々が説明したいこと。
0:06:31	それから、今後追加調査をして、それがわかり次第、またご報告する内容といったところのステート数がわかるようにというのとそれからABCJの因子の各状況がわかるように、
0:06:45	見たところを少し工夫して拡充して参ったというつもりで作っております。少し、過不足等ありましたらご指摘いただければ、対応を進めたいと思います。以上です。
0:06:59	補足です。亀田さんどうぞ。
0:07:03	はい。規制庁神です。まずは、
0:07:08	そうですね、6 ページ、さっき言われたように、根井、今まで、
0:07:15	ちゃんとできてませんでしたっていうことと、
0:07:19	また、全体でここ洗って持っていました。
0:07:22	あとは電力、なり、ゼネコン
0:07:27	の
0:07:30	助け燃えてっていうところが、6 ページ 7 ページに、ただ溶け込んでるんで、全然他のところと差分が見えないっていう形なので、その辺りはもうちょっと下線を引くなりですね。

0:07:46	強調して説明したいポイントと、そして視覚的にもわかるようにということなんだと思いますけどまずちょっと、
0:07:55	神野でございます。はい。おっしゃる通り我々が言いたいところに少しちょっと強調するといったような形で、わかっていたきやすいような、
0:08:05	ちょっと工夫をして参りたいと思います。承知いたしました。
0:08:11	はい。生協菅ですって、あと8ページ9ページの繋がりにって意味でもよくわからなくて、
0:08:20	7ページの全体計画、
0:08:24	全体計画というタイトルがありつつも、ここには全体計画はなくて、9ページにありますってということだからそこはリンクを貼るように書けばいいのかと思うんですけど。
0:08:36	8ページが何でその間に入ってるのかっていうのもよくわからないんですけどそのあたり、構造的にこういうふうになってますってというのは、ます。
0:08:46	神野でございます。9ページがお示した全体計画のあんこになる部分ですけれども、ここに至るとすればこのABCDの4ーこれが、
0:08:56	どのように、このようなものを選んだのかというご説明がこの全体に必要であろうということでこの8ページの御説明を入れていると、そういう思いでここは入れてございます。以上でございます。
0:09:10	ミヤグスで、おっしゃる通り8ページのところ少し悩み度ナガタところでございます。前回の審査会合、由井大石というのは一応一旦オダしておりますので、そこでもう一度、
0:09:22	この細かいですね、大江氏の網羅性を説明すべきかどうかという少しなんですけども、前の時に、15説明できていなかった部分もあろうかといったところでちょっと8ページを入れてから9ページにつなげたといったところでございます。
0:09:37	規制庁上出です。
0:09:40	並べ方というか7ページとの対応どう作り込むかっていうことなんですけど、最初にその8、8ページ9ページっていう並びをたいのであれば、
0:09:55	今2ポツで全体計画を設定してなってるんですね7ページ。
0:10:00	だから、ここでもう9ページに飛ばすことなっちゃうから、それより前に8ページの説明が必要なんですよ。そうなんだけど8ページの説明が、2ポツ2もなければ、3ポツでも触れてるか増えてないかぐらいでよくわからない。

0:10:16	そういう状態では血が来て球が来るっていうから何かこっちは混乱しちゃうんですけど、何かこちらの思ってる問題意識みたいに伝わりますか。
0:10:27	前のムタございます。はい。ありがとうございます大変よくわかりません8ページ。
0:10:33	このアノイシイ教室を踏まえて9ページの絶対結構作っているというつもりではあるけどもそれが7ページのところで、ちょっとちゃんとわかるような形でこういうトピック
0:10:47	図を踏んで、全体計画を作ったという
0:10:49	7ページわかってたから8ページがその部分の説明になるんだなということがわかるようなちょっと修正を加えたいというふうに思います。以上でございます。
0:11:00	はい、規制庁神尾です。もっと言うと6、繋がりのはじめは6ページで、6ページで、ちゃんとできてませんでしたと。客観的な視点に基づきとか、ありましたけどそうすると、
0:11:13	8ページみたいな話を整理しなくちゃいけないし、それをじゃあ全体としてどう進めていくかっていう全体計画も作りましたっていうことが7ページ。
0:11:25	つながりとして書かれるのかなっていうところなんで、そういった形でわかりやすい、していただければ、
0:11:34	元ノモトでございます。はい、ありがとうございます承知いたしました。
0:11:39	KISTECサトウ8ページ9ページの表の中身については言いたいことがあるんですけどそれ以外先にその構造的な部分で、6ページから9ページに、
0:11:52	規制庁側からでもお願いします。
0:12:01	規制庁加来です。特になければ、8ページの表の中なんですけどっていうか、この表も何で出てきちゃったのかなと思っていて、
0:12:14	あれですか。
0:12:15	金曜日、金曜日から前回
0:12:20	介護仕様のヒアリングをしたときに、
0:12:26	なんかもっとあれなんですね細かい表がついていてその4意思というか、パラメータってこういうのがありましてっていうのがただただ説明書きみたいな形で並んでることに対してコメントはしたと思うんですけど。
0:12:42	その対応でこうなったってことですか。

0:12:45	全然ノモトでございます。はい、おっしゃる通りでして、パラメーターを並べる形での説明がもともと入っていたんですけども、等層厚がですねもう少しですねこの
0:13:00	それぞれのその何ていうんすか、パラメーターが何であるかということ、何を言いたいのかがわかるようにということで今ですねこの表の左から2番目の欄ですねここで、
0:13:14	入力地震動算定の寄与ということでダイレクトに最後に、アウトプットとなるそのパラメーターとの紐づけがわかるような形でということでここを修正したと。
0:13:25	いうことです。で、具体のですねVsとかVpとかいう説明はちょっとあの中聞いといたしますか、確認飛ばしまして、ちょっとくどくどそれが何でこれが何でというのがちょっと見失わないと。
0:13:38	というような形でこういうふうになった方がいいんじゃないかということでこういうふうに変更したものでございます。以上でございます。
0:13:47	はい、施設を管理です。
0:13:50	今4分子、
0:13:53	2ポツで4因子とニイツ積もう。
0:13:58	1発では01枚イマイ3位。
0:14:02	そういうことか。丸1枚目③があって、そのあとに、AぽつからDぽつまでである、あるんだけど、
0:14:11	1ポツの対応としての①、②③は、パラメーターのところで書いてあるけど、ポツリポツリポツ、cポツは、
0:14:22	表の中には入れてない。そんな状況。
0:14:26	はい、神野でございます。はい。そうですね。エポII bポツポツdポツがその表との対応はちょっと取れていないのでここを表ごとの対応がとれるようにちょっと、
0:14:36	わかるようにする必要があるかと思えます。今おっしゃっていただきましたように、この一番2番3番の表層岩盤に分けたこのO2×3のうちで、赤いところがぽつ美術品ポスティングになるといったような作り
0:14:55	対応はお伝えしたいと思えます。ありがとうございます。
0:15:00	規制庁パイプです。これでいうと、何で地層が真ん中であっちの表層が真ん中で頑張った。
0:15:08	下の方でございます。そうですね。順番からいうと、ですね。
0:15:12	ここ、これは浅いところから深いところまで、上から下にナベタのひっくり返したので、こうなってしまったというだけなので、

0:15:22	そういう意味ではでも説明の順番からいうと岩盤の方が先に来ますから、ひっくり返します。はい、ありがとうございます。
0:15:37	すいません亀田さんはどうですか。
0:15:40	はい。あと、
0:15:41	パラメータの入力地震動算定の起用ってところの③番の減衰定数のところなんですけど、
0:15:50	① ②のところでは、入力地震動の増特性とか周期特性供試ますよって るんですけど、③番は、減衰の変動に寄与っていう、減衰の
0:16:03	減衰定数が減衰、フェーズの変更になって何かおかしいので、入力地震 動の増幅特性だと思いますけど、そのあたりの平仄を合わせて、
0:16:13	8 案件ノモトでございます。はい、承知いたしました。ここですいませんちょ っと修正漏れでございます気づいておりますのでちょっと修正したいと 思います。
0:16:21	ございます。
0:16:24	はい、清京香です。放送地盤のところはポツとの対応を取り扱った、あ と岩盤部分の③番のところは、
0:16:34	特に気になっていて、小ひずみ領域とか大丈夫、泉は
0:16:40	受振器調査とかちょっと心配お手伝いひずみは 30%圧縮危険試験で すっていうのは、
0:16:47	何か割と初耳な整理な気がするんですけど今まで説明してました。
0:16:52	日本原燃野本でございます。これは除雪。説明の中で、そういう形で、 この比較的弾性域に近い領域っていうんでしょうひずみ領域を前提とし たお話から始めておりましたから、
0:17:09	もともとのちょっと大枠のところでのちょっとこの説明っていうのはして いなかったところでございます。
0:17:18	そうですね。
0:17:20	ちょっと話を広げ過ぎたかもしれないなという気はいたしますので、
0:17:26	そこはちょっと余計な情報をふやさないような形にちょっと、
0:17:33	で、ここの細かい話はもう、補足説明資料できちんと説明すれば十分だ と思いますのでこのちょっとパワーポイントの中で、混乱させないように ちょっと工夫したいと思います。以上でございます。
0:17:45	規制庁神です。
0:17:48	もう、この話何回もヒアリングをしていて、

0:17:53	いまいち航路シックが定まっていないまま、やりたいことは決まってるんだと思うんですけどね、どういう持ってき方をするかっていうのは、auで動くような形で、新しい、ずっと、
0:18:06	昨日のヒアリングぐらいだと、そのマエダとね、とにかく実態を、を行って、清水さんすごくあった。
0:18:16	さらに、設計で少しお話をしていたのを、昨日の段階だととにかく一生懸命まずは室内試験もいろんな、
0:18:27	観測記録も、追加調査もしっかりデータをとってまずしっかり見ましようっていう話もあるんじゃないですかみたいな話をして、宗小鮒みたいな話で動いてはいると思うんですけど、
0:18:42	そのあたり、
0:18:43	まずは考えをしっかりと書いて欲しいと表彰ひずみ大ひずみっていうものを持ってきてまた話を展開するんだっていうんだったらそれはそういった話は聞きますけど、
0:18:57	あれですね、そういう泉みたいひずみみたいなわけではないですよ。
0:19:02	はい。前の方でございます。はい。これ、別に新しい話を持ってきたということではないです。おっしゃるそうです。
0:19:12	はい、規制庁です。その辺りしっかりと書いてもらって、
0:19:19	という感じですね。はい。一応 8 ページの中身については、私はそれぞれスカパー規制庁側から何か気になるところありますか。
0:19:30	はい、規制庁浜崎です。8 ページの最初のポチのところですね。
0:19:35	入力地震動に熱利用するパラメーター、123 しかないんですけども、
0:19:40	今回これを考慮するわけですから、表層も当然、
0:19:44	パパッとね、プロジェクトいっぱいあって、
0:19:48	ですから、ちょっとこの記載を正確に、
0:19:53	はい。要は表層も抜けてますよね。
0:19:59	Aと表層の扱ってということですよ。はい。入力の 3.15 ツジパラメーターとしては、はい。はい。
0:20:05	どうぞ。はい。
0:20:07	はい。表層の設計における扱いはですね。はい。
0:20:11	いたしました。それは別の見解があるんだろう。いえ、規制庁カミデですけど、010203 に対して、対し岩盤と競争それぞれに行って一応書いてるつもりなんじゃないですか。事業者としては、
0:20:27	どうも直すつもりなんすけど、えっとですね、全然ノットございます。そこは、

0:20:35	E+Fでと。
0:20:39	一般生保で、この入力地震動を決めていくのであるというのは、①②③のちょっと外数になってしまうこと。
0:20:49	ということのかなと思ひまして、いや、それは先ほど話が出た設計では、私の話で、本来、入力地震動、
0:20:58	基本的な売り込み、
0:21:01	もう漏れる数字ですから、これは①から④なんですね。
0:21:06	調査も進めるわけです。パラメーター、はい。はい。
0:21:10	埋め込みを考慮しないものならば、当然、競争関係なくなってくる。
0:21:16	だから、入力増に直接寄与するパラメーター①から④に対して、
0:21:23	①から③と④わけ。
0:21:27	いうふうにしてもらえれば、ごめんなさい。天羽カミデンと言ってるのと一緒にですけど。
0:21:32	原燃はこの6項目考えますと言って、ただ、分析としてはこの二つはそんなにやなくていいので4項目ですと。
0:21:41	いうのを、はい。上段から順に言ってるん。
0:21:45	ことなので、最初から4つ言ってるわけじゃない。
0:21:48	そうすると今ここの、はい。入りのところは、入力事業させ、直接寄与するのがメーカーっていうのは、
0:21:56	どう、
0:21:58	疑念を持つのが、最初の123サノ地盤のことを言っただろうと思って、思ってしまうという、そのなげかっていうと過去表層なんてあんまり扱ってなかったからということ言えばですね。
0:22:13	はい。今回は表層と岩盤、それぞれに考えますと、
0:22:17	その時のパラメーターとしては123それぞれあります。
0:22:22	という話だから、ということです。入力地震動算定という行為に対してっていうんじゃなくて、
0:22:29	というでしょう。
0:22:32	いや、ここは入力地震動算定に対して、パラメーターを、何を考えなきゃいけないかというところにまず6項目ありますと言ってるのが一つ目。
0:22:43	それを踏まえて、口六つ枠あるけど、うん。ええ。
0:22:50	二つは、
0:22:52	検討が必要な項目とはしません残りの四つにしますというのが二つ目。
0:22:58	そうすると、ここ、

0:23:02	行政として、ハバサキさんがおっしゃってるのも、おっしゃる通りで直接寄与するという意味では表層考えてE+Fにしてるっていうのはあるんですけども、
0:23:17	E+Fで表層を考えることを前提として、パラメーターを選ぼうとするところなるのであるっていうそういう説明をすれば良いのかなというふうに思いました。はい。
0:23:32	そうですねはい。
0:23:36	ことです。私が先ほど言ったところの趣旨にもなると思うんですけど、岩盤と表層っていうのをまず最初なぜ考えるのかっていうことを、一つ目のポツの最初の一つ目。はい。
0:23:49	それぞれ項目としては 123 ありますよ。
0:23:54	言って
0:23:56	次のところでそのうち考えなきゃいけないのはこういう趣旨からここになります。
0:24:01	いうので、ABCになります。
0:24:06	わかりました。そういう構成にさせていただけばわかりました。はい。
0:24:11	神野でございます。ちょっと私の方の整理も含めましてちょっとこういう形かなということで申し上げますと、衛藤最初の出だしの方ですね、表
0:24:22	今回の
0:24:23	モデルの設定に関しては損益を考慮することにして、プラスで考慮することとした。このことを踏まえて、表層及び岩盤のパラメーターで考慮すべきものを整理したならば、この 3×
0:24:36	が該当してその次の四つだと、こういう流れで、はい、わかりました。はい。これは、
0:24:47	してたわけです。もう一つですね先ほどの話出た藤丸さん、城野ナカノ丸さんの、
0:24:53	その商品を、大事な話ですね。これ、まさにもうちょっとここに書かれてますけども、設計的にどう扱うんだという話なので、
0:25:04	これは次のステップの話である。で、ここに書くべきことは、
0:25:09	今回の周波数依存の話も書かれてるんですけども、こういう検討をやられてるわけですから、
0:25:16	こういう検討を開始して、設定を考えていくというところが、こういう角度になりますというふうに思いますので、
0:25:24	ちょっと検討してください。はい。はい。

0:25:30	はい。
0:25:32	規制庁、私から 8 ページ。
0:25:39	規制庁附属です。最初にカミデが③のその企業の表現が、
0:25:48	うん。
0:25:50	説明してる古藤。
0:25:52	がぐちゃぐちゃになってるよってというような日本語になっていって、わかんないすけど。
0:25:56	ええ。
0:25:57	減衰が減衰にイマセってというようなこと、おかしいよってという話なんですけど。
0:26:02	二つ目のポツも剛性の非線形とって、高性能特性によって、
0:26:08	ナツメ、あまりナカジマヤマニシ。
0:26:11	これもちょっと何か、
0:26:13	何言ってるんだろうっていう感じがあって、
0:26:15	上記G0 をもってG0 って剛性ですよっていうと、剛性の変動による剛性の非線形って、
0:26:21	変動って線形とそんなに、どっちが。
0:26:27	0、
0:26:28	施栓によって、井清期によって、G0 が変わりますんで、ごめんなさい非線形によって変わるんじゃないかっては変わる代わり変わっていくさまが整形じゃない。
0:26:43	状況だ。
0:26:44	入力の際にそれを反映しないということで検討してんですよ。
0:26:49	川とすると非線形と言ってることをただ書いてるだけで、
0:26:56	寄与してるとかじゃなくて、
0:26:58	その変動の特性を見てますってだけなんじゃないかっていう気もしちゃうんですけど。
0:27:03	これどういう意味なんですか。東郷清衛藤非線形性を考慮するとするならば、ごめんなさい、D0 ジンノってこういう文章で書いた時にジーゼルでまず書いて欲しくないんですけど。
0:27:16	はい。ちゃんと合成なりなんなり、日本語で書いてくれっていうのがまずあって。はい。郷西縁の変動。
0:27:25	手によるって書いてるわけですよ。はい。調整の変動というのと合成の非線形性っていうのは一緒なんですか。違うんですか。

0:27:33	それわあ、
0:27:35	椅子費前期によって変動するということに、
0:27:41	えいやって非線形性っていうところの特徴を言おうとしてるのに、変動によるという、
0:27:46	いうので言葉が変わっちゃって、
0:27:49	それがまたその主周波数特性増幅特性、
0:27:56	なんていうことですね、
0:28:00	影響があると言ってるのは周波数特性、増幅特性の方がパラメータであって、その原因となる方は、合成の非線形性、
0:28:13	なんだけれども、剛性の非線形性ってなんだっていうと合成の値のテイカ古藤とイコールであるという、こういう構図になっているので、
0:28:24	だとすると、店の前の剛性の低下に伴いとその次の変動によるは、藪麻生ですね、情報として上がってます。はい、おっしゃる通りです。はい。
0:28:35	はい。中で、コサクで、その低下の度合いが違ってることによって、その特性が変わってくる。
0:28:45	ですね。
0:28:45	そうですね非線形の深さによって低下の度合いが異なるということですね。はい。はい。はい。そういったところが文章見て全然その余計なことが書いたりしてるんですけどわかりにくいんで、はい。
0:28:57	整理をしていただいて、①の方もコントラストによってこれわかんないです。何ですか。本当ですね。
0:29:03	①のコンプライアンスこれはあれですねこの値の藤宇佐。
0:29:11	ここの協会でのさ、差分っていいですか、
0:29:17	速度差っていうことだと理解してんですけどはい。はい。はい。はい。
0:29:25	うん。
0:29:26	協会の宗と宗で急激に変わったりするっていうのは、
0:29:34	はい。宇津木ちょっと今度は起こったやつって聞かされて項目。
0:29:39	はい。はい。一般の人がわかるようにしてください。審査会合におけるですね、一般の方、一般の方がどこまでその努力、
0:29:54	はい。すいません失礼いたしました。
0:29:56	ハマグチでいい。よろしいですか。ちょっときちつとアオキですけども、今の文章、確かに気になってですね、地盤中の速度及び剛性のコントラストって書いてある。
0:30:07	これ、どなたが作られたんですか。要は、

0:30:11	ここで言うのは、
0:30:14	構成もソフトもある意味一緒ですね。うん。厳密に言うと、インピーダンスっていう
0:30:22	辺りなんですけども、
0:30:26	同じことを言ってる。はい。
0:30:29	話ですので、そこを正確に書いてくださいっていうこと。
0:30:33	これ、わかってる人が書かれてるのかどうかちょっとはてなと思ったんですけど。
0:30:37	あと、それみたいなハッタキタムラですみたいな話が最後の中、注記のところは、
0:30:44	単位体積重量って書いてあるんですけれども、これ違いましたね。
0:30:50	はい。
0:30:52	はい。
0:30:54	はい。違いますね。はい。はい。
0:30:59	というようところが、ちょっといくつか見られたっていう、しっかり確認してください。はい、承知いたしました。はい。失礼いたします。
0:31:10	規制庁上出です。コンプライアンスのところって、何か今までも何回か話をしていて、逆にそのインピーダンス切って説明してることに對して何かわかりにくいねみたいな話も、何かあったんじゃないかなかったです。何か覚えてる。
0:31:24	コサクですけど、その議論私はよくわかんないですけど、いずれにしても、物性値等といった後、
0:31:34	4、
0:31:35	要素ですか。
0:31:37	言っていながら、文章中は速度と剛性と言っていて、
0:31:41	で、
0:31:42	なぜ速度と剛性が出てくる、ここに四つじゃないのとかあったり、
0:31:46	するわけですよ。
0:31:49	合成のナカ 2ρ VSがあって、ろうは出てきますけどそうは出てきませんね。
0:31:56	ですマツノために通っていったはずなのっていう。
0:31:59	のがあり、この周期特性とかに影響するのって層厚影響するから入れてるんですよ。
0:32:07	ね。速度領域の程度で、それがこの後だからさ。

0:32:13	こういう伝わり方をするっていう、
0:32:15	ふうに並みの
0:32:17	紐の長さみたいなことになるわけですね。
0:32:20	ということからするとやっぱり表現足りてない。
0:32:22	ですよ。
0:32:24	だから、厳密になんかも4なんだろうな、パラメータの名前書くというよりはそういう、この物性値がどう繋がっていくのかっていうことをもうちょっと定性的にでも表現すると。
0:32:36	いうことの方がいいと。
0:32:39	全然ノモトでございます。はい。2点いただいてと思ってましてこの中で出てくる情報をちゃんと整理して、
0:32:50	説明したい情報が出てこないようにすることと、いうことと、それから、この中でですね、それぞれの書いていることがですね、ちゃんと読み下せるようにと。
0:33:02	いうことだと、いうふうに理解いたしました。ちょっと整えたいと思います。以上でございます。
0:33:13	規制庁菅です。他産地ページはいいですかね。
0:33:20	それ以上に問題児な9ページなんですけど、これはすごい見にくいなあと思っていて、全体計画といつ全体どう進んでいくのか。
0:33:32	何かよくわからないなあという感じなんですけど、業者としては、何か今、直すつもりですか、何かあります。
0:33:39	玄野本でございます。おしかりを受けるかもしれないんですけど、かなりの地震策というのがありました。
0:33:46	元の中でここで木田根井みたいところで持ってきましたので、ちょっと力を受けるかもしれないんですけどもちょっと時系列を左から右へ流してやって、
0:33:58	全体に何が残っててここまでで何が終わってるのかと。
0:34:03	ということがわかるようにということで、と書いてません。でも今ちょっとですねまた少しブラッシュアップが必要だなと思っておるのは、各因子における検討項目、このですね記載の
0:34:15	何といいますか、事項をですね表現等々ですね、まだちょっと整えきれてないところがあって読んでわかる形といいますかなってないところがあるので、よくちょっとここはブラッシュアップが、
0:34:29	必要かなというふうには思っております。
0:34:38	はい。規制庁加茂です。そう言われてしまったらどうしようか。

0:34:45	という感じですけど。うんそうですねまずあれなのかなあ。
0:34:51	へえ。
0:34:53	ずっとオカの話をしようかな。
0:34:57	まず、減衰。
0:34:59	が、まだいろいろやんなきゃいけないことに対して、
0:35:04	8 ページだと、そこがーいまいちよくわからないんですよね。だから、8 ページを直していくと結局 9 ページも直っちゃうんですけど今、8 ページで、
0:35:16	データをしっかりとっていきますということをちゃんと書いてくると。
0:35:22	そうすると、9 ページの項目が少しわかりやすくなるのかなあと思いつつ、例えばその材料減衰の矢羽根のところも、タカヤ、
0:35:36	矢羽根で、フェーズが違うんですね。一つ目の矢羽根は、6 月 20 日に終わって、二つ目の矢羽根はまだまだですと。
0:35:47	言っていて、年内と五つなんかつけかえイワサってという言葉が、9 月 4 日のところにあって、これは一体何なんだっていう感じが。
0:35:58	するんですけど、違和感は伝わりますか。
0:36:02	元の方でございます。今おっしゃっていた代替機関ですね追加競争が 5 月 4 日のところに入ってるここが違和感だというのは、はい。理解いたしました個別に 5 月 4 日に、
0:36:13	入れるということではなくってすいません、補足です。そこが多分問題で、
0:36:20	じゃあ、次のページからの構成ってどうなってんだと。はい。いうと、はい。
0:36:26	原水で 4 ページあり、競争で 3 ページであります。
0:36:31	ボーリング調査で 4 ページ。
0:36:33	はい。はい。
0:36:37	9 月 4 日。はい。
0:36:39	この要件に削る。
0:36:42	違いますよね。
0:36:43	そこが目玉ですよ。はい。
0:36:47	そういうことを表し切れてないんじゃないのっていうじゃない。
0:36:50	はい。はい。てっきり私若生世良バックレって矢印のところ追加調査で書くことをごまかしてるんだとばっかし思ってたんですけど、
0:36:56	何の考えもなかったということですか。はい。

0:37:00	それを申し上げることはないんですけど、何も考えてなかったっていうのはこのアノヤギヒトミ上に書いたっていう意味合いでしか、
0:37:10	ちょっと書いてはいなかったんすがでもおっしゃると。
0:37:13	今日、追加調査についての
0:37:15	ご説明
0:37:17	ということではあって、計画の
0:37:26	です。ここまで話をしててあれなんですけど、
0:37:30	今、皆さん、原燃の者、職員になってるからあれですけど、
0:37:35	関連の資料だと、はい、大体こういう時ってこの話は何ページにかけますって矢印書いてないです。
0:37:41	はい。
0:37:42	(1)であります。
0:37:45	なんでそういうのどこにもないんですかね、現状の資料。
0:37:50	それあると、そうですね、先ほどのアノカミデが言ったように、順序 2 アノブレークしてくなり、
0:37:57	最初の全体像がということで、分解して、次、
0:38:01	はい。
0:38:03	はい。
0:38:04	もう、そうすると、秋田テライなんていうことも、
0:38:07	わかる気がするんですけど。
0:38:10	はい。
0:38:10	ありがとうございます。承知いたしました。
0:38:12	神谷さんどうぞ。
0:38:16	はい。規制庁神戸です。
0:38:18	そうですね。とりあえず
0:38:20	何か工程表で書いてみたところもいろいろ思ったんですけど、
0:38:25	まずはその
0:38:26	今回の V で何をするのかっていうことを書きつつ、今、古作が言ったように、その説明がここにあるという、ということ見えてくるのかな、そういうデータをしてもらってですね。
0:38:40	また見てもらってさっき
0:38:45	678 ページでも言いましたけど東條順と資料の順番みたいに、もう流れてないとなかなか頭に入りにくいところですから、そういう目で
0:38:57	ちゃんと説明できそうかっていうのをしっかりやって、

0:39:00	出してもらえればと思います。
0:39:04	はい。原燃野元でございます承知いたしました。
0:39:09	はい、規制庁神栖オカ氏、9 ページでこれはっていうところ規制庁がありますか。
0:39:17	はい規制庁野崎です 9 ページ、先ほどの 3 としては結構実施したという話をされてある意味そういう情報も入ってるかなというふうに私は受け取ってたんですけど、先ほどの、
0:39:28	9 月の会合の中、内容がですね、抜けている。
0:39:32	ここに追加調査っていうのは要はし、今後の対応に、
0:39:37	引っ張っていくようなものがここに混在しているからというふうに思ってますんで、今後の対応については、後程出てくる 20 ページ、或いは最後の 21 ページの方にも、
0:39:48	スケジュールであったり、具体的な内容が国家、
0:39:51	記載されて、ここのリンクであったり或いは 21 ページの、特にですね、これもちょっとさっき言っちゃいますけど、今後の対応については、内容もさることながら、スケジュールですね、いつ頃めど説明予定。
0:40:05	Millstoneのそういう情報っていうものを入れた方がいい。
0:40:10	すれば、9 ページを、おのずとそう、今後の対応については、そちらの方で、主に説明するというふうに分けられると思うんですけども、
0:40:20	いかがでしょう。9 ページは、今後の対応です。全部横棒って情報入ってるように思うんですけども。
0:40:28	前年ノモトでございます。
0:40:33	ちょっとすみません理解できてなかった。すいません。
0:40:36	この今後の対応のところまで、6 月情報。うん。
0:40:42	いる済み。
0:40:44	ここは、今回の今後の計画を説明しますという情報までにしたとして、はい。
0:40:57	ただあれなんですところ、議会の東側に比嘉はまず筆記でまとめて参りますっていう話とそのあとのボーリングやっけていきますっていうのは、ステップを踏んでやっけていきますと。
0:41:09	いう情報も入れたいので、
0:41:14	等、
0:41:17	例えば、もう 9 月の 4 日審査会合については、例えば、減衰のところこそう説明して参ります。

0:41:25	その制度の中で、一番右側能勢アノLetところに、もうこれを、ある意味一つのアイデアとしては今後の対応ということで、下水に関しては、追加データであったり、
0:41:38	次回会合にて西ヒガシ御説明予定とか、
0:41:42	ということで、
0:41:45	今、次回予定と今後の対応は2列になって、はい。そこで全体計画という意味ではあらわせるというふうに、一つは、
0:41:56	これを一つにまとめて、今後の対応の中で、はい。
0:42:03	例えば
0:42:05	アノハヤシちゃう。今ですね、今後も対応って書いてある。
0:42:09	実際に書いてある内容って、大した話書いてない。
0:42:13	そうですね。はい。ここに書いてあるんです。そうですね。はい。だから、そこに、今後の対応のせずの中に、もう少し入れるのか或いは21ページの方に飛ばして、はい。
0:42:27	そこで、あまりソウノスケジュールも含めて、20ページで説明するという点もあります。
0:42:34	承知いたしました。そう。今の、そうですね。データの信義則経過を追加した確認って言ってるけれども、ここから先ほど大河内さんがいただいたこの点もかぶりますけれどもここ、
0:42:48	こっから後の具体的なスケジュールや、実施内容を説明するところにも飛ばして、
0:43:01	はい。
0:43:03	1回ここでね、ここに帰ったらいいんじゃないのっていう、全部含めて、もう1回なんて言わんと、今後全部ひっくるめて、一つ。はい。時間。
0:43:19	はい。
0:43:21	はい。で、実際今のこの2列に関しては、はい。最初情報もらって、はい。
0:43:30	そういう情報量にするのか或いは21ページに書いてあるような内容を、
0:43:37	もう9ページの方に行けとんで、
0:43:39	ましてや、今後ですから、はい。次回以降、
0:43:44	11月は12月7日に、来年なのかという、そういうある意味20ページの、そのスケジュールでもわかるってわかるんですよね。はい。これあくまでも追加。
0:43:56	検討の話です。はい。多分、そうですねハバサキコガ今、

0:44:01	バラツと追加調査って書いてアカシてるところに、計画を書くとなると、ここが 21 ページを多分かぶってくるはずなんです。計画が、
0:44:10	だからさ、その瞬間に多分 21 ページの役割があんまりよくよくわからなくなつて、ここに預けるからここに書いて 21 ページはここで書いた通りですつていうか、
0:44:20	むしろ飛ばしたいと思います。最後は、
0:44:23	最初の問題。
0:44:32	しちゃう。いや新宅さん言われた集計G-ミナミニイツを外した方が、これ絶対数字がちょっと面白いんでそうですね。はい。
0:44:42	というのは、
0:44:43	見やすくなるかもよ。
0:44:48	規制庁上手ですけど。
0:44:51	ちょっと反対に持ってっちゃって申し訳ないですけど、
0:44:54	10 ページの右に列をこう消しちゃうよりは、
0:45:00	マージした形で、
0:45:02	そのあとどうすんのっていう話があった方が全体計画らしいかなっていう気はします。
0:45:09	結局、今の記載だともいらないんですけど、
0:45:12	減衰って、
0:45:14	最後飯塚坂野と同規模の、何すんの。
0:45:18	材料減衰でとった 3 軸圧縮試験の
0:45:22	アノ値って結局どうなんですかっていうと、今この表だともう 20 日に説明してもう知りませんって感じなんですけど、そうじゃないはずなんで、しっかりデータを並べてみて、
0:45:36	どうすると考えるっていうフェーズがあるはずなんです。一通りの試験値を取得した後の話としてそれがあるはずなので、それをちゃんと全体計画として見えるように、
0:45:49	しておいた方がいいんじゃないかなと思いますけど。
0:45:53	はい。原因ノモトでございます。おっしゃる通りはい。そういう情報を、ちょっと入れ方のイメージがすみません、ちょっと大分小 4 域に
0:46:06	限った話じゃなくて跨る話になるんでちょっと書き方を工夫しないといけないなと思いつつ、ちょっと書き方を工夫しながら、中にそういう、今おっしゃっていただいたですね、データを全部並べて、この市場モデルを策定していくと。
0:46:21	いったような、予定がわかるような記載をちょっと、

0:46:32	はい、規制庁カミデ数ヤマニシ跨ったのかよくわからなくて、
0:46:36	ポツはもうECBポツもまあいいしってだけで、
0:46:40	減衰は並べてみないと、長坂社長。はい。承知いたしました。
0:46:47	一番よくわかんないような表層で、9月4に決着をつけたいのか追加のボーリングもやってみて最終的に徹底したいのかっていうそこはちょっと態度がよくわかんない。
0:47:02	で、
0:47:03	今までも何回も言ってますけど生活はその位置付けって何なのっていうところで一番不明確なのか競争なんでそこも説明したのかなと思うんですけど、
0:47:13	わざわざ四つまじーはしないんじゃないか。
0:47:18	元のございますアノを理解いたしましたすいません失礼いたしましたありがとうございます。
0:47:27	はい、規制庁です。
0:47:29	僕は9ページというか、全然大丈夫そうですかっていうか、9頁野瀬層ですか。大丈夫ですか。
0:47:36	全農でございます。はい。イメージダウンんついたというふうに思っております。はい。大丈夫、大丈夫だと思うが。はい。
0:47:45	日本原燃黒須アノイメージいろいろなアイデアをいただいたので我々、着実にやりたいと思います。ただちょっと、大分大幅修正が必要だなという、今認識なり、幅というか大分イメージも変わってくるかなと思いますので、
0:48:00	もう一度、審査会合までに見ていただく機会を設けるべくちょっと内部1回ちょっとスケジュール感が調整したいと思います。
0:48:12	すいません、大迫です。
0:48:16	追加調査って何なのっていうのを、
0:48:19	今話があって、それ大事だよなんてずっと私も言い続けて、そう言いながら改めてこの青の四角の中をのぞいてみると、
0:48:29	何か課題が書いてあって、
0:48:31	これが追加調査の目的っていう感じが。
0:48:35	するっちゃうのはするんですけど、
0:48:38	そういう趣旨。
0:48:40	元の方でございますハヤシ青点線の中で、
0:48:44	なぜ取らなくちゃいけないのかというのが端的に表現できないのかなと。

0:48:50	思って書いてるのがこの九州でございます。
0:48:53	うん。古作です。だとしたら、何となくわからなくもないけど、
0:48:59	説明としては一言っていうのは、
0:49:02	伝わるのかなっていう気がして、
0:49:04	具体的にはここその追加調査であって、その後ろにページあるじゃないですか。
0:49:11	であればそこでしっかり書いてあれば、ここでそんなに無理くりオノク小さな字ですよ。
0:49:19	説明しましたって何かアリバイづくりのように、
0:49:22	する必要もそんなになくて、頭出しを項目っていうことで頭出しがしてあれば、うん。
0:49:29	だと思うんですね。
0:49:33	なんでちょっと、どういうふうにかいてのは整理をしていただければと思うんですけど。
0:49:38	あと、
0:49:40	要望としてちょっと、
0:49:42	いいのかな、もういいよ。
0:49:43	すいません、私はこういう素人なんで申し訳ないんですけど、例えば材料減衰のところは、繰り返し3軸圧縮試験っていうのと、岩石コア試験っていうのは、
0:49:55	なG、
0:49:57	要望として並んで、
0:50:00	レベルの言葉なんで、
0:50:01	でしょうか。
0:50:03	何か試験方法と試験。
0:50:07	試験体。
0:50:10	なんか意味合いが全く違うような気もするんですけど、多分、正式名称は、
0:50:18	はあはあ。はい。試験の性格は組織事務所としては、正しくは、
0:50:25	ここは使ってるってはいそうですねはい。はい。
0:50:29	なるほど。はい。はい。
0:50:33	補足です。はい。そういうところで後ろを見ると、ここは試験、ここは岩石コアでの減衰の云々測定とかっていうふうになったりするので。はい。

0:50:44	そういったところでちゃんと、何をやるかの要望としては、しっかりとしてもらわないと。はい。
0:50:51	後と繋がらないなっていう気がしているんで、
0:50:55	はい。そうすると、
0:50:59	試験方法の違いで、
0:51:02	保管をしたいということなのか。
0:51:05	ここで書いてある敷地内の実物のデータなのか、類似のものなのかっていうところのポイントなのか。
0:51:13	どっちなのかがわからないんですよ。
0:51:17	それによってこのやつも、ここで各項目をどっちの、試験体の性状のところで書くか、試験方法で書くとか、
0:51:28	どっちで頭するのがポイントなのっていうのがちょっとわからなくてですね。はい。
0:51:34	その趣旨も含めながら、要望整理をして、はい。はい。置いてください。拡充するのは試験体としての場所のある意味、試験体の拡充なのかその方法としての幅を広げると、
0:51:48	上なのか、イトウということですね。はい。括弧書きだと、その試験体、
0:51:53	とる。
0:51:55	とり方みたいなところっていうことを言われてるんだと思ったんですけど。
0:52:00	内村医師もそう言う事でいいですかね。
0:52:08	括弧の中に、
0:52:13	詳しく正確に言うと、この岩石をコアを用いた減衰即、そういった試験データが敷地内にないという、そういうことです。
0:52:25	まずその試験、その試験データが必要なのかという説明が、
0:52:29	30、
0:52:33	分析を使って、
0:52:35	そうですね、はい。
0:52:37	はい。
0:52:40	減衰を測定しますかという説明になって
0:52:44	あれだから、意図としてはあれですねアノも取れるデータも、極力、一杯みんな取ってみんな並べてやろうかというところから出発してるので、ちょっとそういう位置付けだというところを、

0:52:56	ちょっとはっきりと書くということかなというふうな理解で何が足りないからロジカルにこれが必要だって出てきたもんでなくてとにかくできるものは一生懸命やろうというところがもともと出発してましたから、
0:53:07	そうだと思って、どちらかというとその次のS検層でボーリングを掘ってと。
0:53:14	というのが、
0:53:15	中心であったわけですね。はい。であればっていうこと。
0:53:20	だったんですよね。そうですねアノたらもうこれだねそしたら大元の方針である。
0:53:28	できる限りデータをとって、
0:53:31	うん。
0:53:33	認識を深めていく。
0:53:35	いう。
0:53:36	ゴトウでこっちの試験もやりますということでお話されたんだと思うので、はい。
0:53:43	その繋がりとかもわかる。
0:53:47	ね。
0:53:50	ここで言うとその次のS波検層の方も、網羅したっていう文言に書かれている。
0:54:00	主要3地点というのが、
0:54:03	6月か使って、
0:54:05	程度追加ってというのは、何となくもらって書いてあるんで、もう少し、
0:54:13	それが、
0:54:14	他はそのさっきの岩石コア試験も青枠に含まれてんですけど、こっちはえさ検層フクマれなくて、
0:54:21	括弧書きだけが、
0:54:25	不足分だけ説明しますってよくわからない。何をっていうのはなかったりっていうのも表現としておかしいですし、
0:54:35	先ほどの記載の仕方に応じて、何がもともとあり、追加県、
0:54:42	じゃない。
0:54:43	検討項目って何なのかっていうことをちゃんと明示的に、
0:54:47	書いて、
0:54:48	カドイと。
0:54:50	はい。

0:54:52	ここ、あれですね
0:54:54	小さい字で、ちまちま旧ハマダ計画よりは、きちんと後で説明するんであればと、さっきおっしゃって、
0:55:01	いただいた、ちょっと機械整備を、
0:55:04	これ単純に言うと、
0:55:09	佐口は原画考えればいいことでありますけど、サー検層による評価っていうことが検討項目ということなのかというのもあり、
0:55:19	ボーリングで、特定しますっていうこと。
0:55:23	だとすると、既往の測定値の活用と、
0:55:27	追加で
0:55:30	予定をして、
0:55:33	いう、2項目がある。
0:55:36	とすれば、一つ目のポツは説明しました。
0:55:40	もう一つの物をやっていきますっていうふうにもなるし、
0:55:44	そうですね、すみません、今二つっておっしゃる。
0:55:53	それでは先ほど冒頭にノモがこの一番左の検討項目をちゃんとやれば、ちゃんとやりますっていうんですけど、そこをものすごくよく考えてしゃべる順番と追加のページも考えて、
0:56:06	要は、すでに終わって終わってないかもう書き全部ちゃんと繋がるような書き方をしないと、今の検討項目と20日の審査会合これ後、
0:56:16	一体一体に一つ一つのパッケージになってたり、うん。期間もわからなくなったりしますので、この検討項目ですべてを出して、その内20日が終わった、今回ですね、次回以降これ、十分しなきゃいけないんですけど、
0:56:32	検討項目の整理が残って、簡単にちょっと再整理しますと言いましたけど、ここ非常に重要な気が付きましたので、ここ、この項目出しから少し見直して持っていきたいと思います。はい。
0:56:44	はい、どうぞよろしくお願ひします。項目として書いていただいて、必要性云々は調査方法なりなんていうところで生じている。
0:56:54	ということでお願ひ。
0:57:02	ここの作りこれやってんだよね。ここは重要だから多分これなんですよ、多分Bはね。
0:57:11	前後関係は変わらないと。
0:57:16	私だけ自分で育ててください。
0:57:31	はい。はい、わかりました。

0:57:40	嫌やってか。
0:57:41	本当ですけれども、今、9 ページまで、他にどなたか言いますか。
0:57:49	なければ、10 ページ。
0:57:51	から、
0:57:53	減衰について、どなたかありますかコメント。
0:58:00	規制庁上出です。減衰は、
0:58:04	結局その今回の会合の説明、
0:58:08	今回範囲の結論って何なんですか。
0:58:13	今回は、今回は実施項目をリニアバイリニアに広げて、検討すること。
0:58:23	結論が出てきました。
0:58:26	お答えで、その中で人アカシ法による方法でも、結論といいますかデータの整理
0:58:43	を規制庁です。中央の結果っていうのは、13 ページの最初の矢羽根の6.7%っていうのが、
0:58:52	結果っていうことですか。前の方でございます。6.7%だけが結果ではなくて、リニアではこうで多売日にではこう出たそして一定減衰で出すと6、
0:59:04	7であった、地震アカシ法でもこうであったと言った結果が出揃ったというところ
0:59:14	が今回のご説明内容であるというふうに理解してございます。
0:59:20	はい、規制庁カミデです。まずそうであれば、そこがちょっとやっぱりよくわからないところで、10 ページ 11 ページ 10 ページ。
0:59:30	の関係がわからなくて、それが多分 10 ページの一番最初に言わなきゃいけないんですよね。一番の実態を考慮した、実態を考慮したっていう言い方はもう何か古いような気がします。
0:59:44	けど、ここでどんなことをやりますか。要は、リニアだったりバイリニアだったり、のものも見てみるし、エース傾きのない
0:59:55	伝達関数にめがけて、遺伝的何とか法で傾きのない件数用途として見ると、6.7 でしたみたいなのところもあるけどそういう検討もしますと。
1:00:08	これぐらいの 3 種類の傾向があってそれぞれデータがヘリポートができましたということであればそれがわかるように書いて欲しいんですよね。
1:00:20	周知いたします。はい。
1:00:24	冒頭で、おそらくですね、元 9 ページヤタs検層研ぎ品は、記録を用いた評価の 1 時半ヤギ観測記録を用いた評価の中では伝達関数に基づく検討と実施夜間兵庫に、

1:00:42	この地方について、
1:00:46	お示し
1:00:49	結果がこういう
1:00:51	ちょっとそういうふうなご説明があるのかなというふうに理解いたしました。以上でございます。
1:00:58	ごめんなさい、古作ですけど、その点で言うと、10 ページが何か中途半端に分析が入っちゃってて、
1:01:08	しかもこの実現観測記録での、
1:01:12	シミュレーションだけかと思いきやSI件数の情報が入っちゃっていたりとかして、
1:01:17	これはここでやるべきことじゃないんじゃないかと思う。
1:01:20	るんですけど、
1:01:22	12 ページで書いてある話が混在しているって思ってる。
1:01:27	みんな。
1:01:28	でしょ。
1:01:29	元ノモトでございます。
1:01:33	浅井小これは地盤の実態を考慮したパラメータとしてどれが一番ベストフィットなのかということを考えてこういうベストフィットを考えるんだったらそう。はい。ここじゃなくて出揃ってから議論しないといけない。うん。
1:01:48	うん。承知いたしました。はい。
1:01:52	そうですね。はい、わかりました。ちょっとだから、リニアとバイリニアがどうかというなことを、ここで論じると、場所として、それも含めて、データとしてそれぞれありましたっていう。
1:02:05	12 ページに書いてある。
1:02:07	はい。
1:02:09	ここで限定してんだったらこれモバイルには書かないっていうふうになるわけですけどそうはしたくないんです。
1:02:15	はい、そうです。
1:02:23	赤嶺さん、どうぞ。
1:02:31	村長ですけど、神谷さん。
1:02:34	何かありますか。上出です。すいませんちょっといまいち
1:02:41	今の話だと、どう、どうなったでしょうか。10 ページは、まずは入口の全体、下水の入口の全体像だけって感じなんですか。

1:02:50	はい。出野でございます。全体像を、そうですね、お示し、
1:02:57	この後に、それぞれの検討に基づくデータが
1:03:04	並ぶと。
1:03:05	いうそういう格好になると思う。
1:03:08	はい。生協菅です。聞こうとしてたのが、9 ページだと、伝達関数及びオートスペクトルによる県。
1:03:17	TOTO自身は干渉法による検討やりますって言って、それが 10 ページ 11 ページがあり、12 ページにそのまとめがあるんだと思うんですね。なんで、さっきの酸素の 6.7%13 ページ目も今回の結論です。その位置付けは 9 ページをちゃんと書けばわかるんですって。
1:03:37	言ってましたけど今 9 ページに 6. の繋がる情報がないような気がするんですけど、その辺りな感じです。
1:03:51	今回
1:03:57	6.7 というふうに理解してございます。
1:04:02	んやけどそういう意味ではやはり、9 ページのところもそうです。10 ページのところの全体像を、何をやってさ、将来何をやりたいかまで書いてないと。
1:04:12	このスタンスの位置付けというのはちょっと、
1:04:15	もう何か 6.8 期目決め打ちみたいな、変な読み方もしますので、まだ途中経過があるといったところがちゃんとわかるような書き方が必要だという認識に至りました。そういうのは、9 ページのところでもそこをちゃんと書いておかないといけないし、
1:04:31	10 ページで再度その調査のところだと。
1:04:34	紹介して、それ、それぞれの分析の現代時点での分析値やといったところで値を出していく。
1:04:41	整理かな。
1:04:44	以上です。
1:04:46	はい。規制庁神です。9 ページとのカナダと、伝達関数の内数ですっていうのであれば、ページはそう書いてそのまま、
1:04:57	10 ページのそのBDFのところ、そこをちゃんと説明するっていうことになったと思います。で、12 ページで何か結論めいた感じになってますけど、
1:05:09	ここで結論がいた感じすんだったら、寄って奈良の話もここで書かない。
1:05:14	7 っていうことで何か中途半端かがやっぱりあるので検討全体どうなってるかっていう。

1:05:22	について、今回何が大事だとかってというのがちゃんと明確になるように、少し話をして、してもらえenと思います。大丈夫そうですね。
1:05:32	現在なのでございます。はい。でしょ。
1:05:35	だ。
1:05:39	はい、規制庁川満 13 ページの図 10 っていうのは、これ、何を言いたいでしたっけ。
1:05:49	県ノモtでございます。これはですねこの先ほど低角数に基づく県庁で出してきたリーダバイリニアとそれから一定件数の
1:06:03	ところのベースに基づいて、家族記録のシミュレーションをやった結果それがどういふ相対関係にあるかということを示そうとしているものなんですけども、
1:06:14	ちょっとここまでの議論で先ほどリニアとバイリニアでそのバイリニア落としていったようなことをしたりしてたもんですからここでリニアといって件数の比較だけになってしまってるというすけどそういう整理の悪さがございます。
1:06:29	このですね比例評価益でそれぞれの相対関係の、一応データ並べてる内数にはなるかとは思いますが、こういうことになりましたというところまでは、ご提示するんだと思はいますけどもちょっと適用仕方をちょっと考えたいと思はいます。以上でございます。
1:06:46	はい。清長官月、単純な案としてはこれにバイリニアの線に乗せ自身は干渉法ですね。で、今こんな感じですよというぐらいなんじゃないかなと思はいますので、その辺りは、
1:07:02	それが多分結果っていうことに、まずは、今回やってみたってことになったと。
1:07:08	それで、そういうデータを進めるってことかなと思はいます。よろしくお願ひします。出野でございます。ちょっと今私このバイリニアでの観測結果これ、固め掛ける形で、今、保持してるかどうかを、
1:07:22	情報を持ち合わせていませんので、そのところを確認して、ちょっとそごのないような、ちょっと今、手持ちのもので、江藤ご提起したいというふうに思っています。以上です。
1:07:34	はい。規制庁神です。わかりました。減衰について 13 ページまで私は以上です。他、規制庁が代わられますか。
1:07:49	フジイちゃう。
1:07:51	もう、
1:07:53	まるで始まっページヒガシ新刊記録。

1:07:57	この説明して、先ほど、
1:08:00	組合員がふさわしくないという話があったんで、こっから抹消されるのか、場所、
1:08:08	もし生き残るとした場合、
1:08:12	その時点でいかに警報から、
1:08:14	ミイナガタの整合性がよいか。
1:08:18	この 12 ポツが三つ並んで、
1:08:20	僕は根拠なのかな。
1:08:25	リニア型が良い。
1:08:28	その下に図 4 に示す ASR 件数によれば、
1:08:32	次に粟田を評価し、
1:08:37	それならば、この以下の傾向からと切り離れた文章おかしくて、
1:08:42	うん。
1:08:43	このポツの四つ目として、14 っていうのが入ってくるのかもしれないんですけど、
1:08:47	そうすると見直しの伝達関数による方法じゃもうすでになくなっちゃう。
1:08:52	はい。わからないので、減免が落ちている議案方。
1:08:56	何ですべて根拠を、
1:09:00	すみません、大坂です。先ほど言った通りこれ、ここに書くことなんですかっていうのをまず、
1:09:06	あって、
1:09:08	ここでバイリニアとりにどっちがいいのかを議論する必要があるのかということとは私としては疑問を持っていますので、一方で、議論したいんだったら後でどうぞでもありつつ、
1:09:21	それであつてもう、先ほど
1:09:25	首藤が言ったように、最後の矢羽根のところが根拠の中心であるということを前回のヒアリングでご説明されてですね。
1:09:35	言ってること書いてることが違うっていう状態に、
1:09:39	で、
1:09:40	それはあれですか前回の説明を訂正して書いてる。
1:09:46	で、そこは表現できてないんだけど、
1:09:51	はい。
1:09:53	おそらくこのちっちゃなぽ通ワー
1:09:56	あんまり説明になって、

1:09:58	なくて、何を一生懸命やってるんだらうっていう感じですか。
1:10:01	ないので、
1:10:04	もう少しポイント。
1:10:06	整理をしていただければ、
1:10:12	先ほど神野行ったところでの一定でのっていう、依存性なしとした場合のっていうのも、この解析手法を用いていると。
1:10:22	いうことで入れるというふうな話もありましたけど、
1:10:26	そうすると図面にそのズー
1:10:30	杜撰にも入ってくると。
1:10:33	並べるのであれば、ここに一緒に入るとするのはナベタいい形にはなっておりますちょっと示し方はちょっと工夫します。
1:10:43	並ぶものなのっていうのが、
1:10:46	奈良部毛利だとは思ってるんですか。はい。大村です。なぜ並ぶのかがよくわかんないのは地震観測記録と、何だ、
1:10:56	整合させるといふか、
1:11:00	うん。
1:11:04	同定解析により、
1:11:06	減衰定数を同定という。
1:11:12	しかも目的関数としたと書いてあるのと、本当に同じなんですか、メディアの方に合わせるようにとこかって、何か説明されて、
1:11:22	えーとですね、元の方でございます。リニア型パリに当たる方一定件数があつたっていうのをそれぞれ、過程、その周波数の特性を仮定した上で、
1:11:33	それぞれ同定解析は同じやり方っていうかやっていて、
1:11:40	ということにはなっているので、一応横並びには並ぶものなのだという発想では、前回、古閑さんがリニアでの、はい
1:11:52	結果に合わせるように、
1:11:56	フィッティングをしていて、
1:11:58	収束計算をしていて、出てきた数字ですというのと、ここで書いてある目的関数で地震観測記録の伝達関数を目的関数とした同定解析。
1:12:09	表現が違ってるといふに私は受け取ったんですけど。
1:12:14	解析の仕方なんかは一緒かもしれないけど、何をしてくのっていう、大事な目的が違ってるといふような気がして、

1:12:22	神田でございます。そういう意味では伝達関数を目的関数としたら土手解析っていうのは、これは共通だというふうに理解してます。そしたら前回のアップ昨日は、前回の、
1:12:34	余りに結果、
1:12:37	を目指してやったんですって言ってる説明は嘘ですか。いえ、江藤リアのアンドウですけど。
1:12:46	規制庁深見です。私は聞いた限り一応目的関数を目指して、傾きなしで計算すると、6.7 でしたっていう話ん。
1:12:59	に一応なってたんだと記憶してます。
1:13:05	なので逆に、リアとバイリアをほぼ一生懸命やったのが、6.7 との関連が薄いなと思ってる。
1:13:16	補足です。その議論の時に、いやリアで言わないと 6.7 が出ないんですと、小形さんは一生懸命言われて、
1:13:24	そういう話をされたと私は認識をしているので、
1:13:28	違うんだったら違うんでいいんですけど、ちゃんと整理をして、そういった誤解をされるような説明をしないように、
1:13:36	補足説明の方ではちゃんとそこら辺のエビデンスを、はい。
1:13:40	解析の内容をしっかりと説明する。はい。
1:13:45	場合によってはその入力ファイルでも、
1:13:56	12 ページの説明なんで、
1:14:00	説明として、
1:14:04	状況でちょっと確認。
1:14:06	説明の 3 ポツ目なんです。
1:14:10	佐藤ほかに示される臨戦以下の表。
1:14:14	福嶋ほかによるVsの約経験的な値を参照すると。
1:14:23	ずれて、
1:14:26	これがサトウのセンミョウです。
1:14:28	無視して発言はできない。
1:14:34	元に載ってございますコウノ、
1:14:37	とですね比較対象としてオレンジの線で囲ってあるものを参照するとということ、これは示せるものだと思ってるんですけども、
1:14:49	と、
1:14:52	はい。
1:14:54	BS-0.8Vsになると、植野先生。

1:15:05	施設は、あれですね、色がついてる、緑線とピンク、それと青かな。これは今回、県がやった。はい。はい。
1:15:15	それで、黒の実線が、
1:15:19	ある。
1:15:20	それが、VS1000 から 2000 ってやつは、それがフジカワさんの会費。
1:15:28	それで、
1:15:29	これ全体的にまとめたのは佐藤さんの論文に上書きしたということなんですね。要はこの凡例のところをもうちょっと正確に書いてください。
1:15:39	植野星さん。
1:15:40	繋がるような、はい、はい、承知いたしました。
1:15:49	その人のこともそう。
1:15:51	うん。
1:15:53	地震販売承認を受け使ってる図の中でピンク、
1:15:57	うん。
1:15:58	0.1 マツノ 40 以上知見と整合して、
1:16:02	既往知見っていうのも、
1:16:05	これ、
1:16:09	というやつと整合して、
1:16:14	そうです。既往事件って言うてるのは、はい。皮革代表としては紀陽事件って言うてる、おりに困ってるものを指してるっていうこう整理で書いてございます。
1:16:25	補足です。どう整合して、
1:16:28	うん、Vs700、
1:16:31	9 って言うてる場所とはまだいいかしんないです。うん。
1:16:36	OBSAって言うてるの私は整合してるようには見えないんですけど。
1:16:41	ちょっと技術的にこれをどう整合してるということを私説明する記述等今持ち合わせておりませんので、ここは藤専門次長からちょっとご説明差し上げるということかというふうに思っております。
1:16:53	はい。補足です。整合してるという必要があるのかも私にはわかってなくて、
1:16:59	こういったいろいろなデータを踏まえてどうしていくかっていうことを考えればいい。間違いがあるとしたら整合云々というよりは、手法の違いから、なぜこういうふうに機器が出るのか。

1:17:10	とか、そういう分析が必要なんであって、何か短絡的に言ってませんか っていうふうにはか思えない。
1:17:20	権藤です。承知しましたちょっとそこがきちんとを根拠もって、こうこうこう であるといえるのかどうかというところをもう一度最後にいたしまして、
1:17:30	ここでどこ、
1:17:45	さっき、
1:17:47	プロセスで、みなが直す必要がある。
1:17:50	ないんですね、安全なことですこれは今繰り返しご指摘いただいた通り D型をここで押すと落ちてアノというような話の流れじゃなくて結果をフラ ットに並べるといいう形にするという方針かと思imasのでそのように修正 するつもりでござい
1:18:08	規制庁コサクちょっとまた
1:18:13	もうちょっと丁寧に書いてもらいたいなっていうところがあって、まず 10 ページの地震観測記録を用いた評価とって、
1:18:24	伝達関数を目的関数としたんですけど、
1:18:28	目的関数の作成方法。
1:18:32	はどんなことですか。うん。
1:18:35	いうことなんですけど、観測点は示されてるんですけど、
1:18:41	観測記録は、
1:18:43	図面の中に、
1:18:47	年月が書いてあってからってなってますけど、果たしてこれだけで、
1:18:52	あれですか、ここずっと 365 日、
1:18:56	ずっとその後測ってるデータ全部入れてますってことですか。
1:19:00	現実のことです。ちょっと私の理解ではいつ 365 日のデータを行 事とってっていうことではなくて、それなりの大きさの地震が到来し た時のその次は観測記録に基づいてこれはやっていくという理解でござ います。
1:19:20	で、何%あります云々って言われたと思うんです。はい。
1:19:25	そのあたりがいまいちここでわからないなあというのがあって、何でかっ ていうとその次のページ。
1:19:34	地震は干渉法、こっちの方では、アノ. アノ、どこで発生しましたが有井 波が書いてあって、
1:19:43	いうことになっていて、ここで言ってる今図 6 は中央地盤ってなってます けど、観測孔としては

1:19:50	10 ページに書いてある、観測観測点についてはこの点でのデータということだと思います。はい。ありがとうございます。その通りでございます対象としての地震は、が結果が違うというのも、今、
1:20:04	雲母はおっしゃってるんだと思うんですけど、ということだと思いますので、そこがあれですね、こちらの
1:20:13	この伝達関数に基づく検討では、対象が何であるかという、こっちを会社法で書くんだったらこっちも要るよねと、ということだというふうに理解いたしました。はい。細木です。その通りというか、
1:20:26	不足しているということだと思います。
1:20:30	どういうデータに基づいてやったかっていうのがしっかり伝わるようにして、
1:20:37	それでいうと
1:20:40	11 ページの方は、観測点が何とかがいうのがもう省略されてしまっていると。
1:20:45	いう感じもあるんで、
1:20:49	まとめてこのデータをとって、
1:20:52	量を検討を進めるというふうに最初に書くのか、それぞれ書くのか適宜ですけど、ちゃんと繋がるようにしてます。
1:21:01	承知いたしました。
1:21:10	規制強化です。安井は大丈夫ですかね。
1:21:16	浜崎です。それでは 11 ページのですね、図の 6 が、いきなりこの文章のところヤマダに出てくるんですけど多分これほとんど人がわからないんで、もうちょっと丁寧に説明してください。図のタイトルにしても、
1:21:31	補足説明には、もうちょっと図を書いているわかりやすいような、
1:21:36	ということ、あと図自身もですね、そんなに地震のイベントを書く必要ないんで、代表的な論破とかですね、そのぐらい言ってクローズアップして、出銭の種類がこれ 3 種類かなあるんで、
1:21:47	その違いっていうか、の説明を入れてもらえればと思います。
1:21:53	深井代表に関しては、補足説明で書いてあればいいと思いますけれども、ちょっと今の情報では足りないと思います。以上で、
1:22:01	ありがとうございます。承知いたしました。
1:22:06	はい。他に、下水。
1:22:08	規制庁がなければ、
1:22:12	時間かかります。
1:22:13	競争の方、14 ページから、

1:22:16	16 ページ。
1:22:21	規制庁競争の方は事業者側で、昨日のヒアリングを踏まえてこういうところ、手を加えようとかっていうところあります。
1:22:34	10 年ノモトでございます。
1:22:36	ちょっと昨日のヒアリングを踏まえて、ちょっと整理が必要だなとは思いつつ、すいません、今ですねこういうふうに直そうという方針としてちょっと申し上げるような、
1:22:48	東京谷ないという状態でございます。小路学校すいません申し上げて申し訳ありませんけども、そういうところでございます。
1:22:58	規制庁甲斐です。今話していない泉カドイになっちゃうんだけど、どうしますか。
1:23:06	そうですね。大きくはそうですねこの埋め戻しの投入とか処理等それぞれですねこれ、
1:23:17	今回、結局、何をもって何が言いたいのかということがちゃんとちょっとわかるようにしすべしということではあるんだと思ってますけれども、
1:23:29	今ちょっと、これご覧になったときに、すいません。はい。規制庁深見です。ちょっと質問を狭めて、はい。
1:23:41	かいつまんでというかピックアップして、一つ言うと、追加調査って何のためにするんですか。
1:23:47	はい。
1:23:49	追加調査の位置付けですねはい。はい。
1:23:55	おっきいな話としては今回の追加調査でのボーリングで、採取する物性データを踏まえて最終的な地盤モデルを決定するこの大きな流れは、
1:24:07	もちろんそうなんですけれども、その必要性っていう 1 設定大増度合いっていう観点でいくと、今の
1:24:18	リーダーで、N値としてそれなりに取れていると、我々も思える。
1:24:26	ところもなくはないんですけども、ただせつかくこういうふうに
1:24:31	ボーリングをオオウチたボーリングをできる機会があるんですから、この機会に、ちゃんと表層についても、物性データをとって、これ我々分析設定いたしますけどもそれが
1:24:43	あと新しく取れたものでも整合するかどうかを確認していくといったような位置付けのものだというふうに我々理解してございます。以上でございます。
1:24:54	はい。規制庁神戸です。今言われたのは先週までずっと調査ですと、昨日の話だと、結局 15 ページのスペクトルなんかを見ても、

1:25:09	赤のスペクトルを書いてみたものの、このばらつきどうするんですかっていうと、ここもおっしゃる通り、はい。そちらの主張としては、そんなこと言ったって全部もう平均しちゃえばいいじゃない。
1:25:23	平均してハラツツミタテばいいでしょっていう、いうことでしたけどそれじゃ何のためにちょっと話をしてるんだっていうところで、っていうのがマークであるんでしたからそれを踏まえた回答には特になって
1:25:37	今説明されたのは安全週まで、
1:25:40	までのと変わらないことを言われてるなあという気がしましたがもし、そうするのであれば
1:25:50	表層の
1:25:52	追加調査のついでなんつって、愛知相場イシイ、
1:25:57	そもそもやなくていいんじゃないのって思いますけど、そういうところを明らかにしてもらって必要なであればやっぱりデータが足りないの、こういうところいっぱい降りたいんだと。
1:26:09	とって、特にどういうところがあったり、足りないから、こういう点でボーリングを売りたいんだっていうふうにしてもらえればそうかという感じでもありますけど、図にしても、
1:26:22	今日はあんまり詳しく話してないそうなので、私としてはちゃんと考えを明確にしてくださいっていうふうです。はい。
1:26:31	萩野でございます。はい。
1:26:35	はい。生協川満ほか、規制庁は茅野とは言っても、中身の中身であったり、何か確認変える。
1:26:45	2 ページの説明が、
1:26:47	前回から、
1:26:50	そのよ。
1:26:51	なんで、
1:26:52	通例がですね、どうしてもちょっと、
1:26:57	聞いた説明等をどう関係するかわからない。
1:27:02	思っています。1 番目の施工は成約管理の制約、施工方法ってのは、
1:27:09	要は施工狭い場所とか、いろいろ制約を受ける場所で、機材も、協力的に使えなかったり、方法も改善しないけれども、
1:27:19	よく閉まるように、一生懸命そういう状況に応じてやってるんだというような説明を聞いて、なので1 行目と下の、
1:27:27	一番下の大きい状況に、

1:27:30	下三行か提案再生させていつも国施工してるっていうあたりが繋がるんで、間に挟まっている最大乾燥基準。
1:27:41	ていうのは、この説明の中で、ドウツウ
1:27:45	これが医療産業がここに入っていると。
1:27:49	施工幅とか条件があると、あらかじめ、
1:27:53	下災害観察と最適冠水しを参照して、こういう現場だったらこういう水と、こういう現場だったら、こういう含水状態であれば、一定の品質に、
1:28:04	なるんだと思わせぶりが書きっぷりな。
1:28:07	失礼、もう1回、
1:28:10	書き過ぎじゃないかなと。
1:28:12	思ってます。これが正しいんだ。
1:28:15	きちんと。
1:28:16	具体的にはこういうことです。
1:28:17	ないし、適切じゃないんだったら、この有料30年も外すなり、もしくは、これ単に材料をこういう形で管理してますっていうだけの説明だったと。
1:28:29	その技術を明確にして、
1:28:31	そうですね、はい。
1:28:34	はい。
1:28:36	辨野でございます昨日のヒアリングでも補足説明資料の方でちょっとそういう思わずになっていくと。
1:28:44	多様なご指摘をいただきましたけれどもちょっとそういう意味で正確でないだろうというところもいただいておりますんでここ正確な記載に合わせて、
1:28:53	以上でございます。
1:29:00	はい。村長ですけれども、ここに競争。
1:29:04	規制庁カミデすみません1点だけ、16ページの図を、
1:29:10	普通、9図中出すんだったら縦軸が長さのスケールが違ってらんで、何これ以上何か一緒に見えるっていうか、いう感じなんで、
1:29:22	合わせ合わせるなり、
1:29:25	あと別に講師全部並べなくてもいいんじゃないよ。
1:29:30	全部平均して店を同じ表にして並べても、並べる方が見やすいっていうのもちょっと工夫してください。
1:29:39	はい、全員の分でございます。はい、タテ紀子あわせるというのは、と承知いたしましてこれも一つのグラフで横に全部駄目やったら、

1:29:54	全部。
1:30:00	コサクです。いや、何、何を言いたいかによるんですけど、私は工事ごとに、こんなに違うんだっていうのは意味があるんだと思ってましたけど、カミデさんは意味がないって言ってる。
1:30:14	ベッショカミデです。
1:30:18	そうですね言われてみると1グループの中でもこれぐらいっていう意味では、それぞれ並べた方がいいのかもしれないですね。事業者側の立場に立てば、1と2ってこんなに違うんですよって説明したいんだろうから、
1:30:31	だったら平均しちゃって1と2の差を見せればいいのになと思ってだけで、それぞれ並べた方、
1:30:39	あまりばっちしないとかそういう
1:30:43	すみませんありがとうございます。ちょっと縦軸はちゃんと開きたいと思えます。以上でございます。
1:30:51	よろしければですね、江藤最後17ページから、水道ボーリングの話は、すいません。はい。よろしいですか。はい。規制庁竹田です。
1:31:02	ですねこの梅本紫藤の15ページの最後のポツのところなんですけれど、
1:31:09	ちょっと昨日のヒアリングを踏まえてもろもろ構成とかがこう変わってくるかもしれないんですけれど一応どう伝えてみますと、
1:31:17	一定のばらつきの中に入っているから深度依存の平均値の物性を適用すると結論づけているわけなんですけれど、これはその頃は
1:31:29	上のポツで書いているスペクトルがプラマイワンシグマの中で収まっているからいいでしょうみたいなそれだけを拠り所してるような感じにもちょっと受けとめられるんですけれど、
1:31:40	これというのは一連の施工年代ゴトウでの管理方法が、そんなに相違があるものじゃないということ、その上でVS数とかが、これも施工年代ごとで大きな差がないということ。
1:31:55	それに加えてこのスペクトルの比較を行っても差がないよというこのトータルで必要抜けることだと思うんですけれどそういう認識で合ってるんでしょうか。前の方でございますはい。おっしゃる通りでございますので
1:32:08	今ですねスペックとの差だけを持っていったるようなそういう表現というのは正確でないといいますかきちんと表現できてないということも理解いたしましたそこも改めたいというふうに思います。以上でございます。

1:32:21	はい。規制庁の竹田です。わかりました。そういった一連の検討の中で記帳できたということがわかるように、そこは表記いただければと思います。
1:32:30	はい。私から以上です。
1:32:33	はい。藤村長ですけれども、
1:32:38	もしなければ、最後、17ページの追加ボーリング、最後の22ページまで、
1:32:45	コメント等ありましたらお願いします。
1:32:56	芹澤委員ですけど、
1:32:58	17ページ目、17ページ以降は、特に、
1:33:04	規制庁カミデですこのままでいいよっていう意味でのないじゃないですけど今まで伴さんが話したところで展開されると思いますけど、はい。特に、
1:33:15	さらにこれっていうことはあります。
1:33:19	それじゃコサクですけど。
1:33:21	見れません。
1:33:24	補足説明資料の何かかいつまんで書いてただけっていう感じで、とても要点絞ってポイントがわかるような説明書類になって、
1:33:34	17ページ分だけだけど文書化、結局何してる。
1:33:37	どういふつもりでやってんだって。
1:33:40	先ほどの目的の、
1:33:41	ところっていうのは、前回、
1:33:46	9ページとの繋がりっていうところ整理をしたらもうちょっとわかるようになる。
1:33:51	あの、こんな番号をいっぱい書いてですね、どこで何とか何とかっていう、
1:33:55	言いたいんだったら、ユフ施設周辺ダイエー建屋っていうんだったらそのグループのやつも全部書いてあったらいいし、
1:34:03	説明しようという。
1:34:05	目になってない。
1:34:08	はい。
1:34:09	三宅です。失礼しました今までいただいたはず、追加調査の目的をちゃんと書いて、それから、ここにちょっと
1:34:20	身勝手なことばかり書いてですね、何をコミットシナリオ、

1:34:24	これでいっていただきたいとか、整理ができていう、ちょっと羅列した形がありますので、その点、我々のボーリングA、
1:34:32	内容と、ポイント、大体大手関わってるねといったことを言ってもらえるようなデータを書くと、いう認識でもう一度見直して見て参ります。
1:34:42	はい。ですよ。要点をしっかりと伝えるということで、
1:34:47	次の 18 ページの、
1:34:49	補足説明資料で書けばいいようなことぐらい書いてありますということで
1:34:55	すし、
1:34:55	矢羽根の意味がわかんないんですね。
1:34:58	常時微動の計測っていうと、物性値等に係る調査っていうのは、
1:35:04	上の減衰測定っていうことですか。それとこの山根の家はですね、現状でございます。山根はですね、追加調査の項目として並列。
1:35:16	他の矢羽根でならないけど、いや、ごめんなさい、並列って何と引いて、
1:35:26	並列ということですよ。表示のOK。
1:35:30	これ、
1:35:32	用いたんでそこでこの四つが並列になっていて、
1:35:36	なぜわかりにくい。
1:35:41	わかってるからこれがその一連だということはわかってはいるんですけど、それでどうやって分かれてるんだそうですね。はい。感じが。はい。はい。
1:35:50	項目ごと分けるんだしたら、しっかりと分けて書かなきゃいけないし、先ほど 9 ページに常時微動の継続って書いてなかったと思うんですよ。
1:35:58	今日書いてありました。
1:36:03	そうですね。書いてない。
1:36:05	いやそうそうそうだなので、どの枠の、としてどう書くのかによって、ちゃんと後ろの方の仕分けをしなきゃいけないということだと思う。
1:36:15	ね。
1:36:18	ベース。
1:36:19	前の方に十分書けないっていうことであれば、ここでちゃんとそれぞれの測定の目的とか何かって、単純にですね、ただ常時微動であれば、観測記録の分析考察を行う。そんな当たり前で、そうじゃなくて、どういう趣旨でこうすんの。
1:36:35	何のためにこれやってんのっていうことなので、
1:36:38	何も書いてないんですよ。結局、はい。
1:36:41	っていうところを、改めてちゃんと整理して、それだけ書いてあれば、

1:36:47	基本、いいはずなんです。
1:36:53	全部でございます。いたしました。
1:36:57	補足です。その内数になると思うんですけど、最後の表層地盤の物性値にかかるとしても、
1:37:04	9 ページの関係でここで書くことなのかどうかというのもあるので、
1:37:08	ページ、
1:37:11	辨野でございます。先ほど表層のところでは神谷さんからいただいた追加調査
1:37:18	一緒に整理しながら、
1:37:20	実際は書かれる。
1:37:22	ものだという理解をしてございます。
1:37:26	はい。
1:37:33	はい。規制庁、上出です。18 ページに、あれですね表層の調査上げますけど、
1:37:42	これでいうと、
1:37:44	調査維持って 17 ページのところですねあれ表層だけで、何かまた、この辺取りますよみたいな資料も見た記憶があるんですけど私の勘違いでしたっけ。前の方でございます。
1:38:01	案と引いて、今考えてるものということでお示しをしたことがあるんですけども、少しですね表層につきましては現地調査しながら、場所がちょっと前後し得るところもございまして、
1:38:14	ちょっと今の段階でですね確定としてちょっと私するのが、どうかなというところでちょっとマップの方は、ちょっと今回指名させていただきたいと、というようなところになってございましてすみませんちょっと 2.3 として申し訳ありません。以上でございます。
1:38:31	当規制庁カミデスクールマップは示していないと言うつもりかもしれないですけど、今資料上は 17 ページの 1 で、ついでに競争を求めますという、
1:38:42	マップを示していることになっちゃって、
1:38:50	17 ページ、ここに書いてある。
1:38:55	これだからSは謙遜ところだけどこれはまた別。
1:38:59	コサクです。
1:39:02	説明する枠を整理をしてくれるのは、現状の 18 ページが一番上の四角で、さあ件数をやると言っているボーリングの調査の中で、うん。
1:39:12	上微動もやるし、競争もやるというふうに見えちゃう。なるほど。

1:39:17	おっしゃる通りではい。いや、すみません今、今、申し上げます承知いたしました。
1:39:24	ミヤグスアノ減衰としてやる内容、表層としてテライをきっちりかけて、目的も踏まえて、ちょっと作り変えていきます。はい。すみません、21 ページは一応分けてですよ。
1:39:36	シートに、
1:39:39	やっぱりこの枠で書けばいいんですよ。
1:39:48	はい他に、20 ページまで、
1:39:53	コメントありますか。
1:39:59	なければ、振り返りということで、
1:40:09	はい。そして、
1:40:12	たら、
1:40:13	プリンですね。
1:40:17	海田いただく。
1:40:24	まず頭の方ですね、6 ページ、7 ページのところ、説明のところ休憩すべきところを明確にするということとそれから後の 9 ページの全体計画の呼び込みをですね、
1:40:41	7 ページなりのところでちゃんとわかってそれしかもですね 8 ページの位置付けと 9 ページの位置付けがですねわかるような記載を、7 ページからちゃんと読み込めるように記載すると。
1:40:52	ということでございます。
1:40:54	で、この一番最初ですね 6 ページの反省踏まえて、8 ページの整理が出てきたといったようなちょっとこの 6 ページから繋がりもわかるように整理すべきと。
1:41:06	いうことをいただいているところでございます。
1:41:09	それから 8 ページ目 A ぽつから D ぽつの対応につきまして、これ表層と岩盤ですね。これあの一井関係は、これはフルヤさんといかんということでいただいております。
1:41:21	③の減衰の記載に関しましては、ここのですね。はい。
1:41:28	すみません。野本さん、順番に振り返ってもしょうがないですね、少し整理をして話をしてください。時間が大分おっしゃってるので、整理を少ししていただいて、その間に、
1:41:41	次の入札やってみましょう。そうですね。はい、承知いたしました。
1:41:50	はい。では、日報都度話でございます。23 ページからになります。

1:41:57	25 のところを前回のやりとりを踏まえまして、修正はしたんですが今ひとつを出して恐縮です。
1:42:08	また 2 回重なっているのも動かしたところありますし、ポイントは三つだと思っていてそれをうまく時間がかかって書きたいなと思ったのが趣旨です。
1:42:19	設計を構造設計を説明する時にいろんな条文が関係するのでインとアウトの関係をちゃんと考えてその関連性を示しながら、構造設計を展開していくという点。
1:42:30	あと解析評価は解析評価でやりますよと前は言っていたんですけど、構造設計を説明する上でもう解析とかに、の立ち位置を考えた時に構造設計であらかじめ考慮しとかなきゃいけない事項というのがあれば、ちゃんとそこを明示的に、
1:42:45	構造設計側で展開をする必要があるということ。
1:42:49	あとは今回設計説明ぶりとかで累計をしていきますのでその累計の中でさらに代表選定なんかをしながら合理的に説明をするということ。
1:42:59	そこには代表性の説明だったり、代表との差分をしっかりと押さえていくという点をこういったところをちゃんと気を付けて丁寧に網羅性があって、かつ合理的な説明を、
1:43:09	達成をするということで今、一つ一つ丁寧にやらせていただいていると思っていますというところを説明したかったということです。その整理がもうグローボックスで一定程度整理ができてますしましたよと。
1:43:24	というのが現状のステータスかと思ってます。
1:43:27	はい。古作です。
1:43:31	ばらつくのでこのページでお話すると、今の説明であれば、真ん中の三つのポツはインベント下げた 3 項目、はい。いうので一つ目のポツの具体説明ということにさせていただいて、
1:43:44	先ほど室さんの方で話し合ったポイントとか、
1:43:50	言葉整理して圧縮するとか、整理していただいたらいいかと。はい。
1:43:58	はい。
1:43:59	あとはここで説明してることをですね参考とかつけたんですけどサンコーとの繋がりもないので先ほど正しく言っていたように、どこのページとリンクするかっていうのを、
1:44:10	括弧書きで書かさせていただきます参考 2 は特に代表の話、設計説明分類の組み合わせの話とか、あとは評価との関係といったものを示しますし、

1:44:22	あとちょっと飛ぶんであれですけど、仮関連条文の示し方が、今言う、29 ページ以降ですね、の、資料 3 の②でいう、
1:44:32	構造設計に入る前の目次であったり、それぞれの図面での説明であったりというところでもありますのでそういうポイントがわかるように、ページを飛ばすなり何なりして、
1:44:42	リンクをとりますということで整理をさせていただきます。
1:44:46	はい。
1:44:47	2.6 ページは今後の進め方で、かつ、
1:44:53	黙殺に、一連の設計のまとまりをやりますよということ。
1:44:58	最初に廃棄物相変わらずふわっとした説明でしかないですけど、審査会合のステータスからすると、何も進んでないので、これを具体的に担当整理をして、今後説明するよということのやりとりかなと思って、不安とか、
1:45:14	はい。いえ、問題は 27 ページで、26 ページなんですけど、のところなんですけど、27 ページみたいなことがあるのプラス。はい。
1:45:28	料との話ばかりしてるんですけど、
1:45:30	全般の関係を整理してない。はい、そうすはい人間のイシダでございます。おっしゃる通り、
1:45:39	分類ごと分類間の関係が一番メインですね説明グループの設定は、27 ページの一つ目の最後に、また書きで書いてあったり、フルヤツカモアビルも間違ってる人ですけど、同じ内容だったら、別に
1:45:54	同じにかけております。先ほどお話ししたいということなのかもしれないけど、最低限、重要な部分だと思えるんですよ、管理者の話をしていただければと思いますけど、コサクです今のところに、重要度って、
1:46:06	あれですか、どれを主にするとか、そうですね、外部衝撃においても、いろんな事情があつてということですか。そうです。
1:46:14	はい。わからんではない。結局、ボックスで閉じ込めをメインにしたところの閉じ込め、グローブボックスを設計決めるのに、誰が主役なのかってところを決めないと、
1:46:25	事故が決まらないっていうとあとそれによって、受け渡しが決まるのでインとアウトの関係が、そういうことも、最初にも当然考慮しますよっていう趣旨で書いてます。はい。
1:46:38	なので重要度ってよりも設計を決める上での収集関係というか、骨格が誰かっていうところかもしれません言いたいと。はい。

1:46:51	はい、あと 27 ですが、ちょっとすみません 20 何名 2 月 28 ページ以降に資料 3-0 利用せえのグローボックスを意識全部つけてしまいましたけどちょっとこれ、
1:47:03	は何を説明したいのかがよくわからんところもあるので、
1:47:06	今 27 ページで、した資料 3 のところに吹き出しで可視比較をつけて、M OX の
1:47:13	ある I 分類を全部築山の次ページ以降に示しますと、さらっと書いてますがここをですね、
1:47:21	先ほどの 20、
1:47:23	5 ページで一連の整理が整いつつありますよと言ってることの状況として、
1:47:30	次ページ以降にということで資料、ここで言ってる資料 3 の詳細説明図の 1 例としてですね。
1:47:38	構造設計等として説明すべき示すべき内容とか、構造設計応答を示す決める上での諸条文等関連条文の関係性を示すと。
1:47:48	言ったことの示し方の具体的な記載方針を示しますと言って、10 ページに飛ばすということにしてですね。
1:47:56	使うのは、29 ページの目次の表これも
1:48:00	今言った関連性をどう示したかっていうのを吹き出しで説明書きをつけることを条件に考えてます 29 ページの 1 枚ものを目次として使ってかつ、ここに出てくる構造図。
1:48:12	これ艦隊だけなので、歓待部分の構造図を 35 ページ以降になりますけど、
1:48:18	これを全部つけるとまたページが膨らむので、
1:48:24	35
1:48:26	はい窓艦隊学とステンレスパネルの一連の 1 番目の構造になるところ。
1:48:33	を示させていただくということと、あと内装機器の関係が 38。
1:48:40	私が審議して、大失敗したとか 37 ページが、溶接箇所を赤で見ってくれたんですけどカナダエミなくてですね、赤い線が、
1:48:50	このところにあるんですけど、そこに色を変えて、ちょっと黄色イセ大南なり溶接部分がわかるようにして、37 とか 38 を例示にするかなというふうには思う。
1:49:01	あと
1:49:03	今ある

1:49:06	41 ページ目であればガスケットとの取り合いみたいなところを、一つのパーツであるので、こういうガスケット部の取合いこうしてますよみたいなものを、
1:49:15	どう設計を説明するかという、1 例ということで何例かをつけて、今こういうふうに整理をしますと。
1:49:22	ということでご説明させていただこうかなという。
1:49:26	思っているところでございます。はい。
1:49:37	はい。という形でちょっとさ 29 ページ以降もう対象になるようなところ、1 例として今進めている内容がわかるようなものをピックアップして、
1:49:48	説明をさせていただくということで整理をさせていただければと思ってました。
1:49:56	2 ポツは以上です。
1:49:59	榊です。
1:50:01	北井ですけど。
1:50:02	29 ページのところ、
1:50:04	に関しては、はい。
1:50:08	なんてことない。
1:50:10	何かキタノ広告っていうふうに出てきてるやつは、26 ページてる。
1:50:16	15 ページの黒ポツの四つ目についていうことはまた別な報告でいいでしょう。
1:50:22	はい、日本イシハラでございます。29 ページでいうこの項目は、
1:50:26	20、よく言う、27 ページ、詳細設計展開表って言うてる資料 3 の①。
1:50:33	このグローボックスで飛び込みが一番気密性も含めた設計のコンセプトであるのでここでかけてる項目が、ほぼこのままスライドしてる感じ。
1:50:44	ちょっとですよって言うて要はそのポンポンマークですね。
1:50:56	されてたわけですけど、項目っていうと、前言って設計の説明すべき項目とか何かいろんな項目とダブるので、言いたいのはおっしゃってたように、
1:51:06	構造を決め、見ていく上で必要なパーツを分解するだけです。
1:51:11	細かいところではあるけどグローボックスの構成要素っていう一つ展開していったら、そういうところの(1)からぐらいにイマセがない。
1:51:21	という項目ができたんだよっていうのが前身扱え主増減それぞれの%コジマよ。工場設計説明しようとするのと形が違うので、もちろん大事なんですけどいう。

1:51:33	はい。はい。
1:51:34	では今まで設計説明類とかその下のぱオンダが、
1:51:42	以前説明してくとはい。
1:51:44	わかりました。で、
1:51:47	規制庁タニグチ 29 ページ、先ほど説明しているから、29 ページの、この 1 ページ目だけが、要はこういった形で関係性を審議するんですよっていう 1 例として示してます。
1:51:57	と言う事で、できないかなと思ってました。
1:52:01	なので新条文関連条文とかあとさ、さらに主要部のインプットになるのが一番右側に関連する設計説明分類で負圧のための換気設備システム設計って入ってますけど、
1:52:13	こういう関係性をちゃんと明確にしてそれぞれ必要な構造設計としてのリンクを取って、整理をしていくっていうことが一つの考え方というか整理の方針かなと思ってましたんでそういうことがわかるように、
1:52:25	吹き出し等が文章の中で、説明を書こうと思ってます。
1:52:29	調査です。なんで資料に書くのが交通説明されるのかわかんないんですけど 25 ページのところブロックと退職金の整理はしてきているけれど、要は本来やるって言うふうに言った関連設備関係が入ればそういうものとの絡みに関してはまだ成立させたら 20 分早く、
1:52:47	すいません。
1:52:48	29 ページにあるように、
1:52:51	関連するものの関係はこういうふうに整理して必要っていうことの方考え方を示そうとしている。はい。
1:52:57	はい、日本イシハラでございます。まずそうですね目的をちゃんとと言わないと、25 ページで、先ほど言われた 1 段落とすにする
1:53:07	一つ目の丸が整理を進めていますということで、
1:53:10	二つ目以降ちょっとランクを落として、その内数として、まず一つ目に書いてあるのが、関連条文、市場分になるものとそれによる、
1:53:21	インプット総計設計で決めたものは、委員で受けた上で、構造設計するような耐震みたいなもの、あと負圧のシステム設計を委員にして、閉じ込め決めるとかいろんな関係性があるので、そういうことをちゃんと考えながら、
1:53:33	構造設計ってのは説明しないといけないんですよって言うのがまず制度前提だと思っててその整理の様を、
1:53:39	今、29 の表と、その具体的な図で説明しようかなということで考えて、

1:53:47	はい、帯磁率何で今回 3 ブロックの整備を進めていて、
1:53:52	今日は 29 ページを使いながらどういうふうに定義をするのかということを中心にやって、その辺の話と関連付ける形で後の通算という方と違って今ここに関連ついたらと思うんですけど。
1:54:08	こんなものはできないっていうのを、はい。ただ、
1:54:15	要は、結局最後には関連するべきフジイしないから今回は一つ一つの中身をというよりは、こう整理してきてるんですよっていうところで、はい。状況はわかる。
1:54:28	補足です。
1:54:31	部分的であることは構わないんですけど、
1:54:35	せっかく分類D話をしてあるんで、
1:54:40	単体のパーツのみっていうと、
1:54:44	ちょっとグローボックス云々と言っている中で本当に全体を抑えられてるのかと。
1:54:50	いうのがちょっと不安になるんで、
1:54:53	1 ポツ、括弧云々とかっていったレベルぐらいワー
1:54:59	そういう構成でちゃんとパーツパーツ抜き出してきて整理してます。
1:55:04	そのうちのこの単価についてはこうですっていう。1 枚前段は入れて欲しい。はい。
1:55:12	その関係でいうと、
1:55:21	1 ポツ、括弧 145 アライ一部使う 1 ポツの中の括弧は、はい。
1:55:30	7 まであり、そのナカ内数もありと、はい。
1:55:34	いうことで整理されてるんですけど、2 ポツになると急に括弧もなくなってるんですけども、これはどういうことですか。人間にイシハラでございませう。はい。
1:55:44	ちょっとここはかなりサンゴし過ぎたかもしれませんが、オープンポートボックスのフード網や、言ってみればグローボックスと同じような構造で、オープンポートボックスみたいなものはまさしく、
1:55:55	グローボックスを同じような構造でグローボックスと同じことを考えて設計をしますよ。ただ、オープンポートボックスとして特徴的に見なきゃいけないものが、2 ポツにあるものですよっていうところで、そのリンクを全部すっ飛ばして、
1:56:07	2 ポツで書きちゃってるところが駄目なところが気がするんで、

1:56:10	そういうところがオープンポートボックスとかフードで挙げているものの趣旨をちゃんと書いて、2 ポツ 3 ポツがこういう構成になってますっていうのを、説明をさせていただこうかなと思います。
1:56:21	はい。
1:56:22	そうすると、
1:56:25	あつた方があつた方がいて 6、6 ページあるのはよく、必要ないんですけど、括弧なりその内数の項目ぐらいは書いて、
1:56:38	そう。
1:56:39	グローブボックスは小アノ代表で詳述しますので、2 ポツ以降は
1:56:45	多分、はい。として、高齢者を
1:56:50	していく形で作り込みますっていうことで説明いただいたらいいですかね。はい。
1:56:56	一方で、6 ポツって、
1:57:01	はい、何年かとか、はい。
1:57:05	何年カー。
1:57:08	を図ったグローブボックスっていうのは、今回の申請対象にはなくて、
1:57:14	次回申請か何かにあるってことです。これはグループキタノで火災が今グループ説明グループに入っているんで、構造を決めるって意味では、閉じ込めである程度決まったら後はパネルがこうですっていうことだけは葛西側で、
1:57:29	説明をしますよっていう整理してます只野グループ 2 書いても何のこっちゃたはずなので、ここ、笠井側で、火災の要求事項に対する対応として設計を説明しますよってことを、
1:57:39	ここに書きますはい。
1:57:42	昨日そうした方も同じでグループさんっていうのが
1:57:45	溢水を説明するチームなので、そういうことの趣旨がわかるように、はい、書かさせていただき、
1:57:52	そうすると、設備名としては、業務部会で、はい。そのうち、はい火災防護の関係の説明は、グループ上でまとめております。
1:58:03	井清は、はいそうですか。はい。
1:58:15	はい。
1:58:17	院長田尻。
1:58:19	ボックスの高さ、
1:58:23	ファックスの機能そうした方が、

1:58:26	さっき言った地下3階に入ってるやつ0センチです。
1:58:30	許可の時もやりましたけど、ペースに水入れないっていうので、はい。なので高さって言うのもただ、グローボックス自体、
1:58:39	地面に乗かって、多少の課題があるやつは、画題までは大丈夫。
1:58:44	いや、普通にやればですよ。
1:58:46	当然足があるやつもいるので、足があるやつも多分底盤までは、な水がかかっても機能喪失しないっていう整理では、
1:58:55	溢水のとくに、許可の時に水の機能させた方って、計器だったらここまで、要は汗があって計器部があって、その周りに、
1:59:06	指示みたいのがあったらそこまでは大丈夫ですとか、あとポンプだったら木曾まで大丈夫ですとかいろんな高さの設定をされたと思うんですけど、そういう高さの設定の話大井水側では、
1:59:16	やんなきゃなと思って、グローボックスも、
1:59:19	近い。
1:59:20	慎重にスズキイトウわかったんですけど突貫であれば、要はグローボックス自体に対する火災対策っていう、パネルの難燃化っていうしやすいんですけど、
1:59:32	グローボックスの一斉対策っていうのは、これは本当にタバタの話だけれども、被水とかはないからっていうことなんです。そうですねこれ特徴カセかなり反映しちゃってるんですけどグローボックスを置いてあるところに、
1:59:45	水の配管一切オカないっていうのが、もともとの前提ではあるので、そういうのも含めて、前提にしちゃってるところが何か歯抜けみたいに見えるのが、なかなか説明が難しいかもしれませんがその辺はちょっと工夫をしますはい。
1:59:59	佐治です。タケダノモトの要はグローボックスの溢水、そうです。そうです。いや、機能として高さっていうのをかけられると。
2:00:08	はい。はい。
2:00:15	はい。表現にしたようでございますちょっと
2:00:19	全体の目次で考慮すべきということで分抜けなくやってますっていうことをお伝えするのと、あとはグローボックス単品で見た時にこの部分は詳細によるとこういう骨格になってます。必要な要素をちゃんと拾ってます。
2:00:33	それが具体的な図でいくとこういう形になりますっていうリンクでありますというのと、

2:00:39	6と7みたいのはちょっと何を説明したいのかよくわかるように日本語定義させていただきます。
2:00:46	特に機能させた方とか火災の何年かなんかも火災とか溢水に対する考慮ってイデのグローブボックスで考えなきゃいけない設計を、設置水でまとめてやりますとか火災でまとめてやりますみたいなことで、
2:00:58	説明をさせていただくようにします。はい。
2:01:04	すいません規制庁カミデですけど、29 ページは、介護資料に残すっていう話なんですけど。はい。
2:01:12	その前段の説明をした上で 29 ページの表、一部具体化したものとして 29 ページの表を載せようと思ってました。
2:01:22	はい。そういう直感ですね。そうすると、ちょっと中身的なところに入って恐縮なんですけど、
2:01:30	ポツの判定の詳細構造の説明内容のところ、
2:01:35	最初のポツがあって、簡単に取り付け部材に生じる加速度云々っていうのはこれは、地震力のことを言っている。
2:01:46	運転でしたっけ。はい。
2:01:49	八木沢でございます。はい、おっしゃることですね。はい。
2:01:54	はい。閉じ込めを維持するために、地震に持たせると。
2:01:59	うん。
2:02:00	地震地震時にもその閉じ込め機能を維持するっていうことなんでしょうけど、ちょっと日本語が全国関係がぐちゃぐちゃですね、ちょっとここは精査しますはい。
2:02:10	うん。成長カミデつって、あとそのあとの 5 原則 5 層っていうのもすごい引っかかって、前もGBあんまりこうじゃないですよって話をしたんですけど。
2:02:23	実際どうは何でしたっけ。
2:02:25	男じゃない。
2:02:31	まれにみる奇跡的な分ボックスがいるかもしれませんが、ほとんど 5 じゃないですので、確かにおっしゃる通りこれ耐震の構造設計のところの書き方をそのまま、
2:02:42	流用してるので、原則剛構造とするって書いてるところ書いてますけど、実際できてないので、原則じゃねえじゃねえかってところが引っかかるのでちょっと言葉遣いは考えようと思います。

2:02:56	はい。規制庁亀井です耐震の方だと、多分主語が、耐震重要施設。はい。はい。ほとんどのものはこうなんだけど。はい。じゃないものとしての代表例です。はい。
2:03:11	そうすると、
2:03:13	じゃあ、そうじゃないところによって、何か配慮が必要なのかってことなんだと思いつつ、
2:03:20	特に思うのが、今、右側にちょっと書いてますけど、換気設備においては、間接支持構造物になっちゃうんですね。何
2:03:33	赤穂だったら取りついて安価にしたっけ。そう。
2:03:37	やわらかいじゃどうするのっていうところとかも出てきちゃうんですけど、その中で、まず、実態上どういう配慮をしています。
2:03:48	はい、乳井西原でございますはい。おっしゃっていただいている部分としては、結局、
2:03:55	ここにも重心を取得することとか書いてますけど、重心を低くすることってというのは、耐震側で別にできるわけじゃなくて、もともとの閉じ込めだったり、生産工程上の配慮でグローブボックスの
2:04:06	形が決まり内装機器が決まったら中心になって、
2:04:09	そこで決められないので、可能な限りやってると支持構造物をつけるときにその次の仕方なり一次のつける場所だったりというのを、どう工夫するかっていうところぐらいしかないのかなという気はしてますはい。
2:04:25	スズエ町神栖あと、重心低くしたってこうじゃないんだったら、結局何名様低い方がいいけどっていう感じもするけど、何かこの説明もおかしいし、
2:04:36	できない場合は
2:04:39	耐震の方でも書いてますけどまずはその蓄養ボックス自体の評価っていう意味では地震の構造を考えますと、ということなんですけど。
2:04:50	それに、まずはその説明が必要なんだけど、発展して、間接支持としての役割、直接支持構造物としての役割っていうと、
2:05:02	どうなんだっていうところがありますからそこはまた何だろう、共通 12 の関係、
2:05:12	システムを踏まえたところで説明しますっていうのであれば、会合で細かくやる必要はないと思うんですけど、ちょっと話を整理しておく必要があると思いますので、この
2:05:23	よろしくお願ひしますと 29 ページのその記載ぶりはあのさ、最低限ということにしてもらえれば、

2:05:30	はい、稲毛西田でございます。はい。承知しました
2:05:35	29 ページの菅田井のところに詳細構造、他も含めて全体日本語MIMAS
2:05:41	加速度と、閉じ込めの関係全国関係を含めた日本語の適切性で尾藤、原則孔口構造としながら合意にならない代表性ふうグローボックスを説明するのにこの文章をそのまま使うことが、
2:05:55	適切じゃない、しますので、合材っていうこと的前提を上どう構造上、耐震設計上考慮、配慮するのかというところがわかるように、記載を整理させていただきます。はい。
2:06:08	はい。
2:06:09	6 番です。交通中にぱぱっと出してる段階では決めてないんだろなって感じはして、あれですけど、会合資料に押されたところ、
2:06:19	園地会議書いてもらえればと思います以上です。
2:06:24	規制庁の田尻です。ちょっと自分、29 ページで少しだけ中身ばらんでんですけど、
2:06:30	まず 1 点目が、
2:06:32	もう何だか 10 条の(6)のところなんですけど、
2:06:36	10 条の話でいいんですよね運転保守性を考慮して取りつけるっていうので、多分言うからってそんな内容にはなってるんですけど、それで十条でいい。
2:06:46	はい、与儀西浦でございます。ここもですね、閉じ込めで言わなきゃいけないのは、パネルがつくような窓が作ってることを前提に、
2:06:57	閉じ込めの設計をどうしてるかって説明しないといけないので、説明の観点がずれちゃってるのでここもちょっと整理します実際やんなきゃいけないとまさしくその部分だと思ってるのはい。
2:07:08	支店長がおっしゃっていただいたように、別の条文での保守性とかを考慮したものをつけなきゃいけないで、それでも賢いっていう説明だったので、そこがわかるような十条としての説明をしていただけることあります。
2:07:22	当会合としては最ゴコウてるかもしれないけどちょっと頭の定義としてなんですけど、71 ページ、2 ではグループIT化の話があって、
2:07:33	回収業務として組み込めが書かれていて、説明グループで説明を行う関連条文がされてるんですけど、
2:07:40	14 条の場ってどっかに出てくるんでしょうか。

2:07:44	はい、日本のイシハラでございますこれですね、構造設計だけ抜き取ったので前回前々回ぐらいでなんじゃこりゃって言われた配置設計の場合にクレーンオカないとか、その話ですよ。
2:07:59	はい。はい。配置設計が出てきます。はい。
2:08:04	はい。一応、正しいですとかまただから、システム設計から構造設計システム設計は井清ハウジョウ設計部分ができましたよ。
2:08:14	それがわかったんですよということで、タナハシ 1 ページの四角の 1 をもうちょっと頑張ります。
2:08:22	もう全部説明したわけじゃなくて関連条文も多分上の耐震ぐらいしか出てこないんで、ちょっとどうするかわかんない。
2:08:28	今ちょっと枠で囲っちゃったので、
2:08:32	店長、大崎です。以上だな。これを設計中のセッティングでもばったんですけど。はい。
2:08:43	何か構造設計っていうのはそれだけでタグチでなっちゃってる。はい。そうですねなりの予算のシステム設計ハウジョウ設計、はい。わかりました。ありがとうございます。
2:09:00	はい。
2:09:07	あんまり
2:09:09	無理しすぎなくても、
2:09:13	説明できると思います。
2:09:35	規制庁、丹治です。もう 1 点
2:09:39	形は 8 ページの図なんですけど、はい。
2:09:43	何を説明すると。
2:09:45	はい。
2:09:46	えっとですね、これもう、正確性出して恐縮なんですけど、38 ページもですね、資格と、説明文と図がうまくリンク取れてなくて、
2:09:59	やりたいのは、ナカの内装機器主治医をアノナカノ、張りなんかをつけて、柱梁をつけて、
2:10:08	ちゃんとサポートしますよ。それと、ナカの機器はボルトで締結をして、それ自体が転倒たり、損傷だったりしないようにっていうことをやりたいんですけど、
2:10:19	特に一番上の左の四角がですねいきなりよくわかんないところに線が引いてあってこれが何を示すかってこれ多分真ん中上の絵と、下の絵と両方組み合わせて説明をしないと説明が成立しないところに、

2:10:33	池上だけ説明されてるな、それも含めてちょっと整理します。はい。はい。大丈夫です。今おっしゃっていただいたように何か、緑線がですね、何を指して、
2:10:43	全体的にわかりづらいついていう、多分図を絞ってやられる形になって、35 ページとかグローブボックスの構造化して全体で閉じ込めの関係から、
2:10:54	流れも含めて、公表があったり、
2:10:58	何かシールとか野原言ってきているかわかりいいんですけど、
2:11:03	37 は直るんだと、ちょっとわからなかったので、続いただけです。
2:11:10	37 は見えないですよ。
2:11:14	赤い線がいっぱいあるんですけど、30、
2:11:19	はい。
2:11:20	豊岡委員。はい。何を対象にするかは当然先ほどの通りピックアップ、
2:11:25	はい。
2:11:27	つけるからには、
2:11:28	それが合うように、
2:11:30	はい。
2:11:32	そうです。今言われた溶接線は、
2:11:36	文章ではどこで説明してる。
2:11:46	左の
2:11:48	上、
2:11:50	行政と予防締結による溶接だけ説明してV0 じゃないかって話。
2:11:56	結局ね、溶接及びボルトにより加工っていう説明と、漏えいしがたい構造というのは繋がらないんですよ。はい。
2:12:04	結局、何のために、ナカの趣旨説明っていうのがわからなくて、
2:12:09	場所だけ示されてないっていうのはよくわからない。
2:12:13	そこら辺はちょっとそれぞれ整理をする必要がない。
2:12:24	そういったことを考えると右のやつはゆようにいっぱい書き過ぎてて、
2:12:30	という気はするんです。
2:12:33	ちょっとですねすみませんちょっと我々の作業させながら、読み違いをしてとかって定型文にし過ぎてですね。
2:12:41	ここに該当しないものまで文書に入っていて、どこに言いたいのかっていうのがよくわかんなくなっちゃったんで同じ文章を繰り返し使ってる部分で、

	実際、この中で使うのはある。1001 行 2 を使うところだけが多分関係してるんですけど、
2:12:56	そういうところだ分、例えば文章、それに適した文書にするか同じ文章を使うの該当するところ下線で引いて、ここが該当しますとするかちょっと工夫をしてやらせていただきます。
2:13:08	ベタッとハッタはいいいんですけど全部関係ないだろうってとこいっぱいあるので、はい。
2:13:12	そこの工夫をさせていただきますはい。
2:13:14	はい。直接、
2:13:20	おんなじですけど 38 ページの方の構造強度のところには、カミデが言ったような、5 構造の話を書いてあったり、
2:13:29	これも今お話したように、今回関係するのはこの場所ですっていうことでやるのは適宜ご回答ない。
2:13:38	していただいて、
2:13:50	藤井が言った、言いたいことちゃんと一番上だったり、波及影響のところに書いてあったところがあるので、
2:14:01	はい。
2:14:20	藪さん今まで言っていたように、今回開口してるって意味で言うと、文章と図がちゃんとリンクされるように現在整理してますよっていう、
2:14:35	何のため、
2:14:37	認識いただければ、
2:14:40	自分から一部、
2:14:46	あそこですけど、ノモトさん、さっきました。
2:14:50	振り返ります。
2:14:51	はい。よろしいですか。はい。
2:14:54	そしたらすみません耐震パートナー振り返りでございます。まず、6 ページのところからですけど、
2:15:01	からですけども、
2:15:02	えっとですね、6 ページから 9 ページまでの全体計画のところ、当然かいいいすいません、全体の流れといたしまして、説明としてですね、説明した箇所をちゃんと明確にすると。
2:15:16	いうことと、それから説明の順番を踏まえた構成とすることというのが大きな話かというふうに考えてございます。この 8 ページの内容を踏まえて全体計画されていたといったような繋がりがわかるように全体の記載計画、記載内容、

2:15:31	見直すというところをいただいているというふうに思っております。8Pの足かけ9ページのところですね、全体計画のところに関しては、今回のですね、追加調査の説明を、
2:15:45	するというのが本日のミッションであるということがわかるようにするということと今後の予定のところですね、このところに下水についてはデータを並べて今後これを踏まえて検討していくといったような今後の流れがわかるようにこの中で、
2:15:59	ちゃんと全体像がわかるように記載すると、ということかというふうに、お願いでございます。ちょっといろいろ図の入れ替えとかそういうのは入れていただいておりますのでちょっと細かいところをすっ飛ばして話させていただけます。
2:16:10	で、全体計画のところはそういうところございましてでの減衰のところ
2:16:15	におきましては、大きくはですね、今回のご説明は、全体として、その江崎先生、セトを、
2:16:25	ですね、地震が観測に基づく検討結果をですね標準に対して、今回出たということをご報告する内容なんであるということがわかるようにして、各検討結果がですねフラットに
2:16:39	ちゃんと並べて、ご報告するんだということがわかるようにということで、今ですね、その右にバイリニアでの分析ですとか、それをもとに、その一定減衰デーが保守的だとか何とか
2:16:54	ちょっとちゃんとフラットに並べた形になっていないのを、これを構成を見直したいと、いうふうに考えてございます。
2:17:02	それから表層のところはですね、大きくは追加調査のですね位置付けこれが我々の中でもちょっと記載が揺れているといいますか位置付けについての
2:17:15	スタンスを明確にちょっとお示しできていないというところでそれはきちんとちょっとわかるようにと、わかるというかちゃんと明確に我々の考え方を示しなさいということかというふうに考えてございますんで、
2:17:27	これは昨日のヒアリングでのですね、ご確認いただいた事項も踏まえながらちょっと我々記載をちょっと直していきたいというふうに考えてございます。
2:17:39	で、
2:17:40	それから、追加調査のところはですねこれを記載してる内容でですね、追加調査の目的ですとか、それからもともと全体計画、繋がりというのがまたちょっと繋がりがわからない状態になってしまっておりますので、

2:17:57	これですね、それぞれの項目の並びもさることながら、全体計画の繋がりを示しましてそれぞれが、なぜこれをやるというふうに我々計画しているのかと。
2:18:09	いったような要点がきちんとわかるような説明ということで、あと、中身のちょっと記載は整えさせていただきたいというふうに思っています。
2:18:18	ちょっと細かいところもさしいたきましたけど以上でございます。
2:18:26	規制庁かBですけど。
2:18:31	これから資料名を数、
2:18:34	と思うんですけど、今ぐらいの話だと、作業の方の方はなかなか伝わらないんじゃないかなと思うんですけど、もっと細かく、ちゃんと伝えられそうですか。
2:18:44	全然載っています。いただいたコメントでいつもの振り返りメモベースですね逐次何ページのここをどうするどうするっていうのは、今メモとしてもすでに作成してございまして、
2:18:56	私手元のメモとそのメモを突き合わせて、全部網羅できてるなというのを確認できておりますのでそこはできるかなというふうには考えてございます。
2:19:06	規制庁カミデわかりました。ちょっと最初は画面に映ってなかったんで、すいません、口頭なのかなと思ってました。失礼いたしました。
2:19:18	はい。規制庁上津聴いてた中田藤あれですね
2:19:24	追加調査の位置付けを、みたいなのがイセ後ろのページの方では言っていましたけど、最初の方からですね、始まりは、9ページ。
2:19:37	いざったり何が8ページぐらいからなんて、何ができていて、何が足りないのか、まさに全体計画ですけどそういう、
2:19:48	繋がるようにっていうことですし、何回も言ってますけど6ページからの展開で、全体に繋がるようにっていうふうなのでその辺の前後関係をしっかり
2:19:59	チェックしてもらおう。あとはその上流で説明していることが、下流のところに対応するのかっていうのはそのページ番号で飛ばすなりいろいろ手法があると思いますけど出荷で見てもらおうっていうところを特に、
2:20:12	野本さんがここでは見てもらいたいと思いますので、よろしく願いいたします。はいどうぞでございます承知いたしました。
2:20:27	スズエです。

2:20:29	このままいくと、もともとの予定だと、1日に修正版をお出しすることになっていたんですけど、
2:20:37	1ポツの状況見ると、もう一度、
2:20:43	やらしていただくタイミングを探るかどうか、開きはないんですよ。あいてないっしょ。
2:20:49	てないの前提でお話をしていますよ。
2:20:55	使っても資料は、もっと早く出して、タッチしていただけるようにしないと。
2:21:03	かなっていう気はしてたんですけど、どうしましょうかねっていうところですよ。
2:21:10	この策ですけども、ヒアリングしないんだったら会議資料なのか、会合前に事務的に出していただければという。
2:21:19	で、
2:21:22	しっかり
2:21:24	あとは、
2:21:33	そんな不安そうさだ。
2:21:36	今の結論から言うとなんというんです。
2:21:38	ヒアリング時間。
2:21:49	ちゃんとやって、
2:21:50	出す。
2:21:52	はい。はい。
2:22:03	一応、
2:22:04	ポイントはしゃべってないのでさっき、はい。
2:22:07	はいと思ってました。はい。
2:22:11	はい。
2:22:15	はい。
2:22:19	生かして、検証があります。
2:22:26	が、
2:22:33	けど、ヒアリングを始め、
2:22:39	はい。
0:00:18	こちらから順番に、
0:00:20	けれども頭で何か、
0:00:24	はい。
0:00:25	高見。
0:00:27	提出させていただきました資料の通り

0:00:29	でございます、まずははい。
0:00:34	よろしく。
0:00:41	今回方針ということで、説明にもある通り 92 に限定しての話になってて、実際、
0:00:52	3 年生とか、
0:00:56	入ってない。
0:01:03	今日数字が 1 点。
0:01:07	の中でも、資料の展開、
0:01:11	資料 3 に行動を説明するとタバタイマイの方、
0:01:21	は 00 資料で一応差分として結構、
0:01:25	見たところもあったので、
0:01:30	はい。
0:01:32	鳥羽は、
0:01:34	いやね。
0:01:43	はい。
0:01:50	はい。日本原燃の高井でございます。
0:01:52	はい。まず、まず一つ目としまして共通 12 の対応方針というところで限定してしまったというところは、私の認識の一部間違いがあったかなというふうに思っております。
0:02:06	いわゆる共通順位を進める上での整理事項ということで、その共通認識が行き過ぎてしまったというところがあります。おっしゃっていただいている通り他の補足説明資料とか添付資料も含めてですね、
0:02:20	共通 00 入れてどこで何を説明するかというところの整理というところは、必要であり、それは共通準備の前段階であるということで、認識をいたしました。
0:02:31	その部分について、どこで何の資料で説明するかというところは、全体を整理させていただきたいなというふうに思っております。以上でございます。
0:02:44	まず、
0:02:48	資料、
0:02:50	ナンバー一番。
0:02:52	伴。
0:02:54	選定していただいたポイントです。
0:02:57	守っていただいたか。

0:03:02	以外にも
0:03:04	メールとか、
0:03:06	資料でのコメントとかもあったり、
0:03:17	ちゃんと入れていただきたいなと思うんですけど、そこら辺はちょっと、
0:03:34	はい。
0:03:35	ございます。まず、
0:03:37	対応方針。
0:03:39	ヒアリングの
0:03:42	たいというふうに思う。
0:03:44	はい。
0:03:45	あと、
0:03:46	SAのところの記載については、もうまさに、
0:03:51	今検討中の部分もあり、ここまでしか書けていないってことは、
0:03:56	認識しております。今後もその性、まずDBの設計をしっかりとった上で、
0:04:03	衛星の考慮というところ、あと差分の明確化というところがどのようにできるかという具体的なところはお示したいなというふうに、
0:04:17	ナンバー1の、
0:04:23	1までわからざいますでしょうか。
0:04:29	補足です今、
0:04:30	ご回答されたフクールって、ちょっとよくわからない。
0:04:35	わからないというふうに感じた方がいいような気がするのは、共通中にちょっととられ過ぎていたということで、全般2対応すべきこと等を意識しながら、
0:04:48	前後関係、
0:04:49	整理をされるということだと思うんですけど。
0:04:54	これまでのヒアリングで私から申し上げたのは共通中に実態に即したところをちゃんと抽出していただいて、その中した内容を踏まえて、
0:05:05	最終的に基本設計方針どうするか。
0:05:09	で、それを受けた添付書類のところどこまで、
0:05:14	具体化するのか。
0:05:15	いうところを最終的にまとめて欲しいと。

0:05:18	ということで、まずは次、そもそもSteeringチーム発足前からですね、現場をちゃんと把握してるのかっていうような話があって、僕ダウンしてんのかみたいな話をした。
0:05:30	ところがあるんで、
0:05:33	そこを表すのが、共通中に、資料 3、かなと。
0:05:37	いうふうに思ってまして、そういうこともあり、お話をさせていただきました。
0:05:42	一方で、
0:05:44	ウォークダウンしたり何なりって言った時にも、昨日も面談でお話しましたが、持とうの方針を知ってなければ、その通りかどうかなんて当然わかりようがないし、
0:05:55	どこが何点かっていうのもありようがないので、把握をしていかないといけない。そうすると、各条ゼロゼロ資料BCPなんかは特に把握をしてないといけないと。
0:06:08	ということだし、これまでの整理の中でどこが検討が不十分。
0:06:13	いうことが出てくるんだと思うんで、
0:06:17	作業としては、
0:06:20	00 資料もうやっていってないといけないし、
0:06:24	その横で資料 3、共通 12 の資料 3 の中で、現場の把握っていうのをしなきゃいけない。
0:06:30	いうことがあってですね、最終的にセットしていくのはいつかっていうことと、
0:06:36	作業を開始するなり、検討していくっていうところは、別物なんだと思うんです。
0:06:44	そのあたりは、現状、
0:06:46	どう認識をされてるか。
0:06:54	はい。
0:06:56	日本原燃の高谷でございます。
0:07:01	もう少しちょっとずれるかもしれませんが現場の方の確認ということ自体を即したものでしょう。
0:07:09	資料 3 を作るというところ。
0:07:11	この作業は並行して進めている。一方では私としてはSteeringチームとしまして、或いは各条例の整備も含めて上流側からの全体の整理、設計自体が正しいかどうかという
0:07:22	この理解というものを進めております。

0:07:26	今まだその具体的なスケジュールとかは進めていきませんが、両方をどう両方、効率的に、
0:07:36	同時並行で進めていかなければならないという意識は、
0:07:45	規制庁不足です。
0:07:49	00 別紙 1、それが
0:07:54	別紙C。
0:07:57	3423 でしたっけ。
0:08:00	うん。
0:08:02	そうだよな。
0:08:03	業績方針展開すると。
0:08:06	別紙 2 がなんでしたっけ、イシイが業績を市と設備の関係、あと、添付書にどうリンクするかって、
0:08:14	文化推薦の計画が書いてありますが資料別紙 3、別紙 3 は添付書類って言うやつが、どう展開して、補足とどうリンクするかみたいな、含めて書いてるわけです。
0:08:31	快適な人。
0:08:33	いや、いや別紙 2 では、添付補足の関連性をびっしりと整理をしていて、別段それが良い。
0:08:44	はい。それを、別紙 4 はテンプの奥谷。はい。
0:08:50	別紙 5 が補足の分のです。はい。
0:08:56	いうところで、そこまでナイトウ結局共通 12 の
0:09:02	資料 2 の中で、補足何が関係しますよってというのは、
0:09:09	書けないんですよ。
0:09:13	なので、最終的に我々 200 を出していただくのは後、
0:09:19	なんですけど、
0:09:20	並行して作業して、全体工数全体を見渡して、こういう捕捉が前提必要だねというのを 00 で整理しておかないと、共通中に資料 2 が書けず、
0:09:33	資料 3 も含めてセットで出しますと言った時に補足が出せない。
0:09:38	いうことになるので、並行してちゃんと作業してくださいね。
0:09:43	いうことがまず、
0:09:45	認識をいただきたい。
0:09:48	ということです。
0:09:49	そういったところを踏まえて、
0:09:57	作業、

0:09:58	として進めると、我々に資料提示をするってというタイミング。
0:10:03	を考えていただきたい。
0:10:07	一生懸命作業してたらあれなんか、こっちの作業ができないと出せないぞみたい、頭になってもしょうがないので、計画なんかでよく考えてくださいっていう。
0:10:16	です。
0:10:17	で、
0:10:20	その上で資料提示としての枠で言うと、共通 12 に入る前に、整理としてやんなきゃいけないことっていうのを、今日、認識をしていただいて、
0:10:33	その作業計画になっていた。
0:10:36	いうことがまず一つあるんだと思うんですけど。
0:10:39	共通 12 を出すといったこと等、今お話した 00 を出すということ。
0:10:48	基本的に並行してやっていれば、共通 12 をやった。
0:10:53	時には、実作業としてはもうやってあって、
0:10:59	文書として、動きがないかみたいなところとか、他との整合はみたいなところの最終チェックぐらいが残っているというぐらいだと思うのでその時間をツツミ、
0:11:11	積もって提示をいただくと。
0:11:13	ということのかなというふうに想像してますけど、並行してやる作業がどういうふうにできるのかってということも含めて、資料提出計画を立てていただくのかなと思って、
0:11:27	ます。
0:11:28	あと、先ほど言ったように
0:11:30	補足も出すということがあって、補足も一緒に出しますって言ってることからすると、この対応方針の中に、これは補足で、
0:11:41	対応してきますってということも、少なくとも、
0:11:44	これまでのヒアリングで言ったことについてはこれは補足だっていうのを抽出してあってしかるべきだろう。
0:11:52	思っていて、
0:11:53	その点だと共通 12 の資料 123 で表す。
0:12:00	ていうのはまずそこで表しますっていうのがツジではあるんですけど、
0:12:05	ほとんどのものはそれは、00 資料、別紙 1 なり、読んだり、
0:12:10	に反映するものになっていくので、

0:12:14	その点は認識はしてあるんだと思うんですけど、一方で共通 12 の資料 123 にあられない、
0:12:21	00 別紙 1 だけのものだったり
0:12:25	補足だけのものだったり、
0:12:27	添付の添付は、でも今入ってくるかもしれないですけど、
0:12:31	ということもあるので、その住み分けぐらいは、
0:12:36	この対応方針で整理をして、
0:12:38	あるべき。
0:12:41	一番最後の記載の適正化という表現はよくないんですけど、表現はよくないけど別物ですっていうのを示していただいた部分もあって、多少は認識してやられてるのかなとは思うんですけど。
0:12:53	一方で上の方の項目にもそういうのが切れていたり、記載の適正化の中にいや必要でしょうと思うものが入っていたり、
0:13:01	ということ整理が不十分。
0:13:04	だなという気もしますので、そのあたりはこの後具体。
0:13:08	思いますけど、そこら辺で対応漏れのないように、確実にここで対応するぞっていうことがわかるように整理をしていくということって認識していいです。
0:13:21	はい。
0:13:22	日本原燃高井でございます。
0:13:26	まさに対応方針の中で、その共通中にふやしていただきたいと思います。まず申請書関係に関する記載っていうところでアノズキ最低限の適正化ということでまとめてしまったことは、
0:13:39	少し
0:13:42	雑だなというふうに思っております。
0:13:44	そこも含めて、対応方針で、共通 12 で説明するもの。
0:13:48	それ以外で説明するものっていうのは、アオキ明確にして、
0:13:53	はい、そうです。よろしくお願ひします。ちなみに、明日、提出予定とお聞きしてますけど、今日通常に全体での対応方針については、どんなフォーマットになって、
0:14:04	はい、杉上西でございます。まず、
0:14:09	今整理事項とかいろいろ書いてますけど、対応方針というのが、大枠のメイン。
0:14:14	それに対応時期を書くことなんですけど、それはその宿題が終わったかどうかのステータスもそこで全部表すところで、

0:14:23	それに、あとは他のタスクとの関連性っていうのを共同で本体だとあんまりないんですけど、他のどれも使おうと思ってますんで他の+との関連性みたいのを表せるように、
0:14:34	欄を設けます。あとは、前やったコメントの番号とか、日付が書けるようにということで全体フォーマットにしよう。
0:14:43	はい。補足わかりました。
0:14:44	その辺は明日提出に向けて、他の作業担当とか、
0:14:50	あとは、はい、話をして共通にできるという、
0:14:55	ことで、はい。
0:14:57	はい。
0:14:58	宮城西田でございます。はい。
0:15:01	それぞれタスク受け持って逃げるんで、バラバラに考えさせずに、全体通して考えて、これでみんなできるよねっていう確認をして、そこに移って、
0:15:10	はい。
0:15:11	はい、古作です。わかりました。
0:15:14	を行って、
0:15:15	もういつもオウム返しのことを書いているっていう人たちが多いので、今後、
0:15:23	実績を積む中で、どの程度、整理しておかないといけないのかっていうのをSteeringチームですね、認識を割って、進めていただき
0:15:36	はい、乾西原でございます。はい。今フォーマットがまず共通できることプラス、対応方針のところは何を書くのかっていうところがない規模ですので、そこは第二チームでグリップして、整理をしていきたいと思えます。
0:16:04	サンゴ。
0:16:19	一応今、ここに
0:16:20	ミヤザキのヒアリングの資料。
0:16:25	煽って、
0:16:26	ヒアリング
0:16:29	を
0:16:30	中身、
0:16:31	ゲームになったっていうことは、
0:16:34	してるので、

0:16:36	はい。
0:16:47	磯野芽衣美展、
0:16:50	とかって、今考えありますでしょうか。
0:16:55	はい、イノウエの高でございます。おっしゃっていただいている通りここに記載しているDBとSAの方で7月、8月の4日のヒアリングでの、
0:17:06	内容というところを反映するということは、全然不十分なものでして、
0:17:13	いくつかフェーズ分けてここでいうとSAの共通住民の整理というところをやっていきたいなというふうに考えています。まずはですねSEも含めてですねデービーでの設計としての扱いと、
0:17:27	いうところをきちんとまとめた上で、そのSAの設計等を考慮事項を上乗せしていくというような形で、類似の設計項目というところをきちんと差分を明確にしたいと。
0:17:41	それは資料のところ、整理をしていくというところになります。でもその資料2を作るにあたって、いくつかのフェーズがあるかなというふうに思いますんで、
0:17:52	そこはきちんと竜巻とヒアリング同様、
0:17:56	資料の作成プロセスというのをきちんと見てやっていく。
0:18:01	規制庁コサクですけど、
0:18:05	そうなんですけどそれをどうやってやるのってということだと思っんですけど、資料2を作りますって言っちゃうと、いや、そもそもこの間違ってること廻谷かけるわけがないじゃん。
0:18:15	いうことになるので、認識を合わせなきゃいけないということで、少なくとも、DSAの整理は前段階でやっておくべきことと思ってましたけど、その認識は、
0:18:27	あります。はい。日本レジャーまでちゃんと
0:18:32	と言って欲しかったことのキーワードは、まず一斉として今タスクを、ぱくっと項目から書いてますけどそこにちゃんとやるべきことを全部書くよというふうに入る前にやるべきことタスクってのがまさしく、
0:18:44	DSAの仕分けの話と、ただDSN仕分けをするためには、DBの中での被水って何かこの資料3で何か言って資料4で何やんのっていうところをちゃんと仕分けをしておかないと、そこに行き着かないので、そういうことをちょっとタスクとしてまず挙げて、1セガワでちゃんとやりますっていう。
0:19:01	宣言をさせていただくということ。
0:19:04	はい。

0:19:05	コサクです。それが大事だと思ってまして、それをDBでまず刻んでからエッセイもまぜていくってことなのか、一緒に、
0:19:15	やっていくってことなのか、そのあたりを少し、原燃内の
0:19:22	担当の認識とかも含めてですね。
0:19:24	整理をしていただければいいかなと思ってます。その際に、この間のようなメモNO作成。
0:19:33	の認識程度で、またもんと考えても結局でき良くないんですね。
0:19:39	そういう状況だったら、共通 12 を作る羽目になって、
0:19:44	基本設計方針から分解して行って、資料 3 まで作り込めるかっていうラインを作り込んできた、ということなので、
0:19:52	先ほども言ったように、並行して作業しながら、これがエッセンスだよなと思うものをまとめていくと、す、そのエッセンスで間違ってたかっていうのを確認をして、間違いがあれば、
0:20:07	そういうことかということで認識をし、資料、
0:20:12	23、
0:20:13	いうのを、その方向で作り始めて行って、議論が、
0:20:18	解決したのか。
0:20:21	さらに疑問が出たのか。
0:20:23	というようなところで、ブラフ認識を、
0:20:26	合わせていく。
0:20:28	いう作業プロセスなんだと思う。
0:20:31	てます。
0:20:32	そういうところで、ちゃんとその種共通中に、
0:20:37	資料 23、有吉 1、
0:20:41	いうところをやりながら論点が潰せているかと、いうことを考えていただきたいと思います。
0:20:49	その時にですね、
0:20:52	基本設計方針をもとに並べていて、大枠としては
0:20:59	防護対策設備なのか対象設備なのかとか、
0:21:03	それもう、どの対策の趣旨のものなのかっていうようなことで、段落分けたりするので、大枠類型は書けるとは思うんですけど、その類型の中にもそれぞれ
0:21:15	共通のもので書かれている順番に即して、またここに書いていたり、

0:21:21	ということで、実際にはマトリックスの状態では文章書かれているはずなんですね。
0:21:27	その構成単価を認識しながら、ぶれのない、整理をしなければいけないということだと思う。
0:21:34	ています。
0:21:35	そこは認識していただければ対応できると思うんですけど、今回のポイントは評価、設計方針に書きちゃっている。
0:21:45	ところでも、設計配慮が必要なものがあってそれはちゃんと資料3に持っていきましょうねと。
0:21:52	いうところを、
0:21:55	含めて考えたときに、
0:21:59	項目出しというふうにしたらいいかねっていうのは追加でちょっと考えなければいけないところが出てくるんだと思ってるんです。
0:22:05	そのあたりを、
0:22:08	早めに潰し込む必要があるのかな。
0:22:11	で、コメント、対応方針のこの縦軸ですね。
0:22:17	どういう項目分けして対応していくのかというのも、実はそれに、
0:22:25	対応するんじゃないかなと思ってまして、
0:22:29	これをこの後ミヤマコイケと評価項目ごとになっちゃったりするんですよ。
0:22:34	なんですけど、それでは資料3の整理できないでしょうみたいな。
0:22:38	ことがあったり、
0:22:41	もうちょっとこっちとこっち一緒に検討しないと。
0:22:44	まとまっていけないよみたいなこともあるので、
0:22:47	そこも少し念頭に置きながら、次回の対応方針の整理をしていただきつつ、具体的にこういうふうに展開していきますと。
0:22:57	いう
0:23:01	また開放し、書いて、対応時期を変えていくと、
0:23:08	やりそうだなっていう感じが。
0:23:10	出てくるんじゃないかと思しますので、
0:23:15	その点で、
0:23:17	やることの具体を、
0:23:20	スプレッド、
0:23:21	認識して整理をいただければ、

0:23:28	はい。日本原燃の高谷でございます。
0:23:30	はい。おっしゃっていい。
0:23:34	また、理解いたしました内容、方針のせ整理事項、縦軸、どのような積み上げで、
0:23:41	まとめていってかかっていうところ、
0:23:44	今後の評価と設計の整理に合わせてやっていく。
0:23:49	させていただきたいと。
0:23:53	乳井西原です。おっしゃっていただいて、その他救うを上げた上でそのタスク間で多分相互関係があるものとかかってちゃんと
0:24:04	グルーピングするなり、関連づけをして順番が決まったりとかいうことだと思うので、そういう整理をちゃんとやるってこと。
0:24:12	さっき言ったように基本設計方針で別紙 20－別紙 2 で、要求種別を書いていて、それで機能要求の評価要求って書いてるんですけど、
0:24:21	あれ基本設計方針の中身に結構偏って分類をしてって、
0:24:26	今回資料 3 とか資料 2 も含めて作ったときに、ここわあ、
0:24:31	評価がいきなりっていうところは実際行動設計説明しないと駄目だよなっていう、なると、その要求種別も入れ替えなきゃいけないみたいな話も当然出てきて本当に基本設計方針の文書上でいいのかみたいなどころまで、
0:24:44	多分さかのぼっていったらと思うので、そういうことをちゃんと意識して、どこを軸足にしてその設計説明しないといけないかっていうポイントを抽出するかみたいなどころが、多分乗り始めるとわけわかんなくなるころなんで、そこは、
0:24:57	それぞれちゃんと共通的な視点でやる必要があるかなと思ってます。
0:25:01	これ、実際は竜巻がこうでは多分ないので、そこをちょっと意識して共通的になるように、整理していきたいと思います。はい。
0:25:10	はい。
0:25:12	そうするとですね、先ほどそのDBSA、
0:25:16	整理をしていって、特にDBの、その評価、設計と、
0:25:24	いう作業をする際に、基本設計方針で評価でこういうふうに書いてあるけど設計としては、設計としてはこういうことになりますよ、であったり、設計のところはこういうところで評価に渡しますよっていう、
0:25:38	一通り一覧のようにして帰っていただくと。
0:25:42	竜巻の人だよなだったりこれを、こういうパターンでやろうなっていうところで、

0:25:48	ある程度パターン化して、他に展開できるんじゃないかなというふうに思うので、そういった表というかですね、
0:25:58	設計と評価の関係性。
0:26:00	いうのを一旦まとめてみてもらえないかな。
0:26:05	はい、日本原燃北井でございます。
0:26:07	はい。
0:26:09	はい。その席をまとめていきたい。
0:26:12	それであ、はい。
0:26:14	はい。
0:26:18	その意味だと、
0:26:21	1度でもいいので1回それやって、それをやるのが一番最初で、ゆるやると、前、
0:26:28	溢水の中だけです。全体に展開して、そのまま設計方針でやればいいものなんかは、
0:26:36	簡単だと思うので、そういった論点のところを抽出して認識が合ってるかということをして、整理をいただくと、あとDBSAっていう
0:26:47	繋がりやすいんじゃないか。
0:26:49	思うので、
0:26:51	刻んで対応いただいたらいい。
0:26:54	はい、乳井高見。
0:27:02	古作です。もう1点DBとSAの関係だと、SAの方で、十時17ということで、添付し、ただ、SAの方でと言いながら、
0:27:13	PP関係での添付書類も含め、全体としてどこで何を書くかっていう整理をしてるところなので、そこまで行かないで今関係性の整理ということですけど、結局その関係性が成立すれば、
0:27:29	おのずと中17D書いてるところは、結論が見えてくると、ということだと思うので、最終確認の書類整理をするというぐらいじゃないかなと。
0:27:39	いうふうに思ってますので、この枠の中に、十時17番も含めて、こういうふうに進めます。それによってその添付書類の書き方も、整理していきますっていう、
0:27:50	それが00ろう別紙4にもなっていったり、
0:27:54	ということなので、1017を入れ込んで、方針、
0:28:00	整理していただければと思いますけどよろしい。

0:28:04	はい。乳井ニシダでございます。はい。そこはおっしゃっていただいている通りのところがあるのでTACって全体としてタスクの整理をしていきたいと思えます。
0:28:14	いろいろ中でも、整理をさせていて、おっしゃる通り10重大事故の基本設計をして、大枠しか語っていないので、いきなりそこでDBに飛ばせるかっていうとそうではない、飛ばす度には、
0:28:28	SAとしての条件とか、対象とかいろんなことを多分語らないと、飛ばせないんですけどそういうところをどう、どこまで書いたらジョイントできるのかみたいなのが資料2とかで整理できると、それそのまま添付書類で受重大事故で書くことそのままに多分なるので、
0:28:45	そういう整理を、今まさしくやっています。総務担当タスクとして認識して、示させていただき、
0:29:02	ねえ。
0:29:05	画像に関しては整理。
0:29:09	ないんですけども、今回
0:29:11	一番右端のナンバーでここ面等をまとめて、
0:29:15	ごめんなさい。
0:29:16	だと思えますけど、ちょっとこれも、
0:29:20	置きたいところがあって、今回その対応方針に共通して、
0:29:41	重要な
0:29:42	盤で挙げられているか。
0:29:48	の話。
0:29:49	根井。
0:29:51	ぜひ
0:29:53	シェルター
0:29:54	オダモチギいただきたいとして、
0:30:02	線や項目を一致する箇所、
0:30:07	だから、整理していた資料でも説明があったと思うんですけども、それぞれの条文要求の中でもっと一方の要求が必要な、満足するもの、
0:30:19	ヤノを整理した上で、その両方かかる。
0:30:23	アベしない例えば粒シールでも、
0:30:29	この違いがあったり今床ドレンも火災を満たすのは、これミツイタケノbyモリカせいけるような、これとかそういうアノ面とかも示して、
0:30:39	説明があったと思うんですけど、それは報道部隊を確認、

0:30:46	今回の
0:30:47	欲求の、
0:30:50	ダイエーということとか、そういうところもあるのでその説明はしていただきたいなと思うので、
0:31:02	はい、日本原電の高谷でございます。
0:31:04	はい承知いたしました。国分、ゴトウでいただいたコメントとしましても、井清の中ですね、火災の防護区画の情報というところを各重視すると。
0:31:14	特にですね区域の境界の貫通部とか、そういうところの要求事項とかっていうところをきちんと満足できるように、関するシステム停止。
0:31:24	措置を行うとかそういうところの請求情報、入れ込んで、
0:31:29	ところで、
0:31:38	が
0:31:41	本番。
0:31:43	感じなんですけども、
0:31:45	これは、
0:31:46	操作場所とか保管場所が守らないといけないと、これ。
0:31:52	整理するとか、
0:31:55	決まってもらったと思うんですけども、
0:31:58	シェアする人とか、0フジイなんて0含めて、どこから向上させるのかっていうのが、
0:32:07	図形なあ。
0:32:10	はい。
0:32:13	前から言うと、水防災設備の選定っていうところがあると思うんですけども、これがスギタ。
0:32:19	いうところに、現状そこには入ってなくて、
0:32:24	今の申請書ではそのあとの評価会社となる防護服の設定のところに入って来ると思うんですけども、そこが
0:32:34	DSAの関係性のヒアリングでは、ちょっと
0:32:39	まだの方は確か対象の選定のところでアクセスともう入れていた。
0:32:45	元なんて、
0:32:46	そういう話は、設計のところから、
0:32:50	それは何か。

0:32:52	イセサトウとかとかね。ちょっと下がれる的な話はあったと思うんですけども。
0:32:57	どうも関係なくどこ。
0:33:00	PSAへ、同じような整理になると思うので、
0:33:04	ただ、
0:33:06	そのパッケージをちゃんと条例から整理して、ただ、
0:33:12	はい、日本原燃の高屋でございます。
0:33:15	はい。おっしゃっていただいた通り清野のアクセスルートとエビナアクセスログについては、同じ設計条件で整理できるというふうに思っておりますんで、そういう
0:33:27	計画としてのせ整理というところも、しているものだというふうに考えておりますので、
0:33:34	は、わかるように設計項目も付けとか、そういうところの説明をさせていただければなというふうに、
0:33:44	規制庁コサクです。今設計項目っていただいたので、大丈夫かなと思うんですけど、イスイ経路だったり、追加管、
0:33:53	区画はまだ仕様表にも書いているので、
0:34:00	形の項目として上がってくると思いますが、
0:34:07	防護対象施設なのとかかっていうとそ。
0:34:10	でもなかったり、
0:34:12	建屋との内数だったり、
0:34:15	あとは、
0:34:16	若干その扱いが不透明な部分があって、
0:34:20	その結果資料共通中に資料 10、資料 1 だと、どういうふうに上がって来て、建屋、へこむ、それとも、評価のその部分から出すと。
0:34:32	全般的な方針から出すのと、
0:34:34	というようなことだったり、どういう整理の仕方をする等、分類。
0:34:41	がわかりやすく説明しやすくなるのかっていうのは、少し考えてもらった方がいいかなというふうに思う。
0:34:48	てます。なので、先ほどの話の中にも、資料 1 もかなみたいな話を、
0:34:54	チヨロチヨロット、新居さんがメインかなと思いつつもC1 も
0:34:58	必要かなっていうふうに思って話をしたところなので、
0:35:03	ど、
0:35:04	どういう扱いで説明してくことにするのか。

0:35:11	特に溢水経路という関係でいうとすると、経路ってどういう扱いなの。
0:35:17	いうことを踏まえつつ、そのときの設計項目っていうのを説明していくのかと。
0:35:23	いうのをまとめていただくのが大事かなと。
0:35:26	思いますので、それも
0:35:29	先ほど言った評価、
0:35:32	設計というところの流れの中でこういう枠組みでこの枠でこのことまで話をします。
0:35:38	いうことを一旦まとめてもらうと、認識が合ってくると思います。
0:35:43	はい、承知いたしました。
0:35:45	はい。
0:35:46	なるほど。
0:35:47	承知いたしました。
0:35:59	今、
0:36:01	宮内さんの声が、
0:36:22	多分、
0:36:24	どっち、今困ってた両方が反対がいるから、
0:36:29	申し訳ない。
0:36:30	いや、
0:36:37	大丈夫。はい。
0:36:39	してなんですけど。
0:36:41	32番でアクセス通路部の話があって、
0:36:44	これ
0:36:45	評価判断基準はそもそも何か原則 20センチみたいのを今申請書に書いて、原則って、
0:36:53	例外は何だとかそういったところで結局、
0:36:56	オッケーとする判断基準が曖昧なままで回答が、
0:37:01	なかった事項なので、そこはちゃんと説明が必要な事項として整理、認識されてると思うんですけども、よろしく申し上げます。はい。日本原燃の高井でございます。
0:37:13	アクセス性の部分のところの評価判断基準につきまして、国交省のガイドラインに沿って判定基準等を適用しておりますが、
0:37:23	この辺の根拠というところの、についても補足説明資料で説明した方がいいと思いますので、ご説明させていただければと思います。

0:37:32	カミヤてた。
0:37:34	今、20 センチが国交省のメッセージ。
0:37:41	私が言いました。はい。そこは指摘していただくとして、
0:37:47	デマチフナノか私もよくわからへん。はい。ちょっと確認します。はい。
0:37:53	はい。今、
0:37:55	今質問されたのは、原則って言ってある数字を決めてやっているんだけど、原則ってことは何か外れる場合があるってということだと思うんで、それを資料3とか、
0:38:07	ヒガシ、
0:38:08	っていう質問なんですけど。
0:38:09	高谷さんがその数字の根拠を説明しますって言って、かみ合っていないんです。
0:38:13	申し訳ございません。はい。
0:38:16	趣旨を理解いたしました原則 20 センチ以下ということで、
0:38:22	実を言いますよね。ちょっとマスキング外し、
0:38:27	すごい気がついたのは、
0:38:30	元
0:38:33	のはい説明をさせていただきたいと。
0:38:36	多分原則が原則なのかっていうところ。
0:38:39	多分説明しないといけないと思うので、
0:38:41	こうしますだったら判断基準と、
0:38:45	原則って言わなきゃいけない場合ってのは、何らか、
0:38:48	普通の部分があるからそうなのでそれが外れたところが本当にそれでいいですかみたいな話を説明
0:38:55	全体のストーリーをまず決めないといけないと思う。
0:39:00	わかっている。
0:39:01	原則、要はイレギュラー持ってる。
0:39:12	いや、何か面的にこの部分があって、とりあえず保険課別継続って見てる。
0:39:24	明日、許可の整理資料で帰ってもらうと、同じことを解決すると。
0:39:29	当たりをつけるために書いただけで、あんまり具体的に外れるところがあると思って書いてるわけじゃないですけど。
0:39:36	今、多分井清チームで検討した中で、もう許可言ってた話から変わってるのかどうか、多分そのまま単純に使ってるだけとするとあんま考えて

	ないですので、やるんだったら多分原則を外しにいくっていうのがまず第1原則で、
0:39:50	でないと設計語れないので、
0:39:52	原則をつけたいんだったら、原則はっていうところが何があるかっていうのがわかった上で、原則と書くのか、
0:39:59	基本的な考え方書いてある、ただし書きでこの、こういう場合もありますとか、何かいろんなパターンがあると思うので、大小関係も含めて整理センター金戸池です。
0:40:11	村長からですね、話で毎回毎回、
0:40:15	この、これがあるのかないのか。
0:40:19	曖昧が限られてたんですね。
0:40:22	フェーズで、
0:40:27	農政理事長。
0:40:30	こういう具体。
0:40:39	日本原燃の高井でございます。
0:40:41	具体的な場所につきまして、6ヶ所側から答えることがありましたら、よろしく願いいたします。
0:40:59	はい、日本原燃の竹中です。
0:41:02	どうぞすみませんちょっと今、音声、
0:41:05	ちょっと飛んでですねもう一度、アクセス通路部の椅子に対する判断基準を、許可の整理資料の時代からずっと原則って使って国交省か何かのガイドラインの数字使ってるんですよ。
0:41:19	原則ってことは原則外れる人がいると思ってるから、原則って書いてるんだろうなと思って、現状設工認で評価なり何なりしてて、原則から外れる人が具体的にいるのかどうかっていうのをキャッチアップできてますかっていう。
0:41:34	であるとするとなら具体的にどんな場所ですかっていうのを質問してます。
0:41:42	はい。日本原燃の篠崎です。以前のヒアリングでもお話しましたが、DBのアクセス通路部というものは設計の概念として上がるんですけども、実際に設定を行っていないと。
0:41:54	ということで、投入せんじゃないんです。ただ、先ほどありましたように、アクセスルート、こちらとの共通部分ということで設計項目をですね、
0:42:03	こちら使って整理するとなりますと、アクセスルートの方では20点値を超える箇所がございますので、

0:42:11	ちょっと整理してご説明差し上げますが、具体的に前処理建屋とかで20センチを超えるところはございます。
0:42:23	日本原燃の高でございます。整理しますって言った方ですね。はい。こちら整理して、させていただきます。
0:42:35	おかしいです。打ち合わせなんですけど、決定の結局が接近するところの経緯を今進んでいるでいいですか。
0:42:43	はい。日本原燃の高屋でございます。現状はまだ整理中というところなのであとそれもあわせてお示しさせていただきたい。
0:42:53	店長の佐治です。別にアッセにもしないんですけど結構前からいろんなところを指摘していて、要は、
0:43:02	何かが決まらないから先に進まないのかというのがよくわからない状況になってしまうので、それも含めてこれで対応方針を整理して、こういうふうな作業についてまでにミズタてしまうというのを示される人はいっぱい言っているんで、
0:43:16	そこははっきりわかるようにしていただければと思います。以上です。はい。評議員の高井でございます。はい。対応方針の方で、いつまでに、
0:43:31	院長山内ですとか、ナンバー2の
0:43:36	安江の、
0:43:40	に関しては規制庁側から確認でございますでしょうか。
0:43:44	結構です。先ほど14番、
0:43:47	ナンバー、
0:43:50	浅井君。
0:43:51	話持って、
0:43:53	これピットへ行ってきたというのは、
0:43:58	次。
0:44:01	はい。
0:44:04	はい、二本木高でございます。
0:44:07	この架空に関する記載の拡充というところで個別を整理するということで、もう、下にですねSABの価格の設定方法、
0:44:17	についても論点がありまして、正直言いまして、私がグルーピングの際に、そうするものだとの認識。
0:44:25	合わせてやってしまったということが対象でございます。人間一緒でございまして。まず、単純に、先ほどBでまずどういうステップで、2-1をやりますかっていうときに当然防護

0:44:37	評価対象を決める上によって僕額を決めるっていういろんなステップがあると思うんですけど、
0:44:43	DBで決めたそのステップにSAがどこでジョイントするかっていうのを決めたくてですね、それを、防護対象の区画の設定もディー・ディー・エスに合わせて、
0:44:54	やるんだってなると、それぞれ出した上で、ここでジョイントしましょうみたいな議論をしないとなってるところもあって、多分医療評価に結びつけるための設計のコンセプトの順番からして、
0:45:05	どこでジョイントするのが一番効率的かっていう合理的かってのを考えなきゃいけないんで、そういう意味で一応中には入れてもらってますけど、具体的に答えがあって書いてるわけじゃない、検討の過程として多分考えないといけないよねと思って。
0:45:18	ポイントとして入れてるっていう位置付けです。
0:45:21	そういう整理をされたからこそここに入ったのかなと。はい。
0:45:29	せ、
0:45:30	はい。
0:45:38	二本木。
0:45:39	荘司田島。
0:45:43	伊勢淡路です。
0:45:46	1 ページまでで規制庁側からありますでしょうか。
0:45:53	12 ページに関してですが、申請対象、評価対象設備の選定漏れがあってそれを、
0:46:02	改め
0:46:04	考えを整理してそれで、に基づいて、
0:46:08	作業を行ったっていう。
0:46:09	でも、今、私の関連性としては、資料 2 に紐付けて説明する。
0:46:16	あと資料 1。
0:46:18	リストで対象設備を明確にするっていうことが書かれて、
0:46:22	ですけど、
0:46:22	対応としてはこれ、
0:46:24	だけの特に資料に紐付けて説明するっていうのは、
0:46:28	何かあれですかね、基本設計方針に、
0:46:31	確認する。
0:46:35	地名としてはどういうイセ

0:46:37	しれなかった。
0:46:41	はい。
0:46:43	高井でございます。
0:46:44	評価対象設備の選定で、最終的には、資料1で、網羅的に整理されて るということを、
0:46:53	説明しようというふうに考えて、資料1で明確化するというを書きま した。その前にですねその考え方というところで資料2、3というところ で、
0:47:04	資料に資料2ですね。
0:47:08	で、その評価対象設備の選定の考え方っていうところも整理したいな と。
0:47:14	すいませんちょっと答えになっていないかもしれませんが、その対象の 選定の考え方っていうのは、改めて、補足説明資料のところで整理をし た上で、
0:47:26	全体が法的にできてるところは示したいなという。
0:47:33	いいですね、多分。
0:47:35	定義がうまくいってないって言って、評価対象設備の選定って言いなが らやらなきゃいけない行為なんですけど、これ設計かっていうと、何かの 設計をインプットにして決めてるだけなんです。
0:47:46	やってる声が、
0:47:47	どっかで、こういう設計にしています。だからそれを条件に、この人は評価 対象から外せますみたいな話を多分してるだけなんで、
0:47:55	だから急いでなんかやってるわけじゃないので言い過ぎで何かで整理し なきゃいけないですか資料2でって言われたら、
0:48:01	例えば設計説明分類に入ってる設備に抜けがないことっていうこと。
0:48:06	例えば資料2でやりたいことなんですよね。だから資料1で、評価対象 設備が漏れなく入って、その人が設計説明分類と位置付けられて、では この設計説明分類を、
0:48:17	溢水で0じゃなくていいとかBとかついてますけど、あれで一斉にワーク がついている人全部持ってきて、説明するから抜けがないですっていう 説明なんじゃないかな。やりたいことは、
0:48:30	と思った。
0:48:32	どうでしょう。
0:48:39	はい。ちょっと多分、
0:48:41	社内で配布で整理をさせていただきます。はい。

0:48:45	資料 1 だけではないという
0:48:47	思いますがはい。
0:48:49	の対応方針を明確化したい。
0:48:53	一応
0:48:55	資料 1 でって書いてる趣旨は私も何でかなと思って確認したんですけど。
0:48:59	単純イコール防護対象だけでかつイコール評価対象だと、安全は設備 が取るんでいいんですけど、
0:49:06	システムのどっか端っこについてでこいつが機能するとそのシステムが死んじゃ ったときに、
0:49:11	物がアンリユウとしてエントリーされてればいいんですけど、明確に、
0:49:14	いないとすると、どっかでこの人がここに含まれてますっていうのもう フラグを立てておかないと、資料 1 に拾ったことに多分ならない。
0:49:21	ところを多分紐付けてし、明確にしないといけないっていうのが、多 分、
0:49:27	思ってることだと思います。
0:49:29	やり方は難しいんですけど、
0:49:31	例えばですけど塔槽類廃ガス起源についてや、弁調節弁みたいのが いて、この人を機能喪失させると、このシステムがなしますみたいなことを言 われたときに、
0:49:42	この弁って固有名詞は多分出てないんで、
0:49:45	システムとしてこういう名称で結びつけてここで見なきゃいけないのは溢水 上は便利なんですっていうのを、何か明確にしといてあげないと、
0:49:53	抜けるだっていう、
0:49:55	気もするのでその辺のサイクルなんじゃないかなって思っていました。 はい。
0:50:00	長山道です。
0:50:02	そうです。
0:50:05	生協の梶井です。
0:50:07	先ほどまでは共通留意の会合資料の話で聞けると思うんですけど、例 えばグローブボックス引っ張ってきたらその中で考える何とかだというふ うにぱっと持ってきたやつで、
0:50:19	一斉の場合は、多分

0:50:21	ブロック 3 取り込み機能を担保するために全部バックが決まったけど、 溢水という観点では要は一新に影響を与え二つ部分を抜き出しソウノ 工場のビルですよとかっていう転入とかしてかないって話だと思っんで、
0:50:34	全体の構造は他そこは息抜きオカマエダ井清の管理意識示して、一齊 から水戸小磯から増えてます言ってくれるかどうか、多分整理をされる ってことかなと推察はした値になっています。
0:50:47	はい、西田でございます。はい。先ほどあって評価対象の場合は、急い で設計を決めてるわけじゃないので、何かの設計を使ってるっていうこ とを前提に、
0:50:58	どこから引っ張ってきましたかっていう前提をですね、現行取らなきゃい けないってというのは、おっしゃる通りだと思いますそこをちゃんと明確に しなきゃいけないのが、資料 2 でやんなきゃいけないこと。
0:51:07	資料 1-2 で紐付けてってというのは、少なくとも、
0:51:11	見なきゃいけない評価対象が抜け漏れなく、設計説明ぶりに落とせてる よねっていうところを資料 1 資料 2 を結びつけてやらないといけない ってことだと思ってます。この二つを多分キーポイントで書いておけば、
0:51:22	ここのタスクとしてはあんまり抜け漏れなくいけるのかな。
0:51:25	思ってます
0:51:38	規制庁
0:51:39	関連してなんですけど、創通でも県の系統図を活用して、抽出って いうのもわかる。
0:51:45	それをどのように思う。
0:51:47	表面セクターみたいなことってなんかな。
0:51:51	こうやってもらえないんですっていうことを、ちょっと 09 で、作業され たってことは理解したんですが、とても長く、
0:52:00	出てますってことは、
0:52:03	説明をされる。
0:52:05	でしょうか。
0:52:11	はい。日本原燃の高でございます。
0:52:17	網羅性というところの説明というところはもう少し整理が必要になって くると思いますが、今は本当に系統図を、対象設備に対しての系統図 ってところで、
0:52:28	すべていろんなベリ-
0:52:31	として明確化した上で、それを結果として抽出すると。
0:52:35	カドイってそれで網羅性をどうやって説明するのかっていうところは、

0:52:43	もう少しちょっと整理が必要だと思いますので、
0:52:46	そこはもう少し考えていきたいと。
0:52:50	わかりますけど難しい話難しいですよ。ですね。
0:52:56	また、
0:52:57	疲れる。
0:52:59	こちらから、
0:53:00	にしていく事項の 1、
0:53:06	成長の 2 人です。
0:53:09	共通点は今どこまで使ってるかによると思うんですけど、
0:53:12	共通需給に応じて検討とか一致してっていう形になっていって、資源においては当然夜によって、こっから行われる方もついてる形になっていって、
0:53:23	そのいろいろ範囲に応じてその名称を発揮された人いていただければアフリカ取水率の一覧と関連する話になって、こっからここまでにいるなんてないよ、この設備の名前ですよ。
0:53:34	この説明パー共通 12 の流れになって多分、構造設計を多分示してる形になると思うんで、ただ、3 日社標とかになるとぐちゃぐちゃになるとは思っているんで、やらないといけないイメージはわかるんですけども、
0:53:47	どうやって見えるようにするかとかは悩ましいと思うので、ちょっとイメージができ上がったらまた説明いただければね。
0:53:55	何か確認できればこれみたいな感じのものができてしまいそうな気もするので、ご検討いただければ。
0:54:03	はい。基本の考えでございます。はい、ありがとうございます。
0:54:07	これちょっと紐付けとか構造、
0:54:10	これどうやって整理していくかっていうところは、はい。
0:54:13	ちょっと検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。この共通 09 を活用することでの活用の意味合いをちゃんととかないと、
0:54:23	無限に世界に広がることになるので、
0:54:27	共通でよけりやっというのは多分、あくまで系統な安全機能を考慮して一緒になる経路がどこですかみたいな話を言ってるだけなので、
0:54:35	そこから多分、共通 09 の使い道としては、経路が繋がってるラインを見ていって、どこが、
0:54:45	ウィークポイントカミタイラけど、どこが溢水でやられる可能性があるかみたいのを追ってるっていうのが多分、
0:54:51	あれなんでしょうけど。

0:54:53	一つは系統としての、まず見なきゃいけない系統として抜け漏れがないよねっていうところが、
0:54:59	説明ができるかっていうとそれもまた難しいな。
0:55:04	ちょっと、はい。書いてもらった方がいいけど、これ説明するのが、裏返しにしてもらってこれができるっていう説明を我々がどうするかっていうとちょっと難しい。
0:55:15	浅木。
0:55:17	資料が問題だし、
0:55:19	規制庁さんの、
0:55:21	膨大なものだと抜き取りとか、プロセス。
0:55:24	するっていう。
0:55:32	そういう
0:55:46	緊張ヤマグチです。
0:55:48	2 ページに関して規制庁側からありますでしょうか。
0:55:56	なければ 3 ページに関してですけど、
0:56:04	3 ページは国内の資源に関してまとめられたと思うんですけど、
0:56:17	当方物体に確認するってなっていた事項で、ドイツの配管でも、破損形状を変えてる件について今もこれまたっていうことで、
0:56:29	書かれていて、価格によってその影響程度が異なるからっていう、ドイツの販管に対しても規格によってその影響が異なるからっていうのは、結局守るべき対象設備の位置とか、そういう、
0:56:42	ところに寄って影響が異なるってことを生きていけばいいかなと思うんですが、その後ろの影響程度を確認した上で各単位で 1 円とする。
0:56:53	決定するっていうところで、
0:56:56	D、
0:56:59	設計としてどういうことやったのかっていうののイメージがわからないんですけども、
0:57:05	特にこの話そもそも
0:57:09	査定はそんな話なのかとか耐震の話なのかあと没水の話、話で大きな話はそれぞれなの。
0:57:17	どのことの話をしてるのかっていうのが、
0:57:20	わからないのでそういったところも
0:57:24	例を挙げて確認できればなと思っているので、それは多分以前お伝えしてるとは思うんですけども、今のこの三行だけじゃちょっとわからなかったんで

0:57:34	ご認識いただければと思います。
0:57:39	このまんま、この3ページに関しての、そのタスクの共通順位とのタスクの関連性っていうところでは、
0:57:49	資料2で、
0:57:51	ゲーム設計、
0:57:55	Dってことで書いてるんですけども。はい。必要なのはシステム設計だけなんですかね。
0:58:05	ここのタスクの関連性の記載の趣旨をちょっと確認。
0:58:09	していただいてもいいでしょうか。はい。
0:58:14	中の多数の関連性で、
0:58:16	資料2で、宣言除外をする設備配管機器っていうところについて、まず主語が守られる防護対象の設備です。それに対して、水源を除外するというところから、
0:58:31	あとは区画を設定する経路を設定するというところの設計項目を、システム設計として入れるという形で考えています。
0:58:42	一方ですいません
0:58:45	はい。それに対する評価解析っていうところをもう明確化しないといけませんという
0:58:52	記載してるのとあと、資料3で、水源の構造、
0:58:56	配管機器の詳細設計というところを明確にするというところは、水源の除外に対する構造、Ssで担保できるというところの話だと。
0:59:09	すいません。ここは構造設計というところも、追加で買ってきちゃったというふうに、
0:59:19	院長ヤマグチです。構造設計の説明も必要になるっていうことで、それは認識されてるってことだと思うんですけど、その
0:59:28	3ページについてはよくないの質疑に関していろいろ、
0:59:33	特に
0:59:35	女らしくをまとめられてると思うんですけどもそれぞれに対しての対応っていうのがわかるように、このタスクの関連性の記載だけだとちょっとわからないので、その辺、
0:59:46	具体的に示していただければと思うので、お願いします。
0:59:51	はい、戸谷でございます。
0:59:54	3ページで、規制庁側からありますでしょうか。
0:59:59	大倉さん、今の話関連付けてこれ1000、
1:00:03	何。

1:00:04	はい。
1:00:06	うん。
1:00:06	ことなので、設計とか、
1:00:09	必要だと思うんですが、
1:00:11	決めず必要はない。
1:00:18	はい。
1:00:21	高根でございます。
1:00:24	繰り返しになってしまうのかもしれませんがはイセ、
1:00:28	年まず資料、防護対象設備に対する水源、区画経路というところはシステムで示そうというところ。
1:00:37	その対象に対する配置。
1:00:41	というところの設計項目があるかないかというところは、
1:00:46	を設計項目として
1:00:48	ある。
1:00:51	まだ整理ができてない部分もあるかもしれませんがそこは、資料2を作る上で、どのような設計項目があるかっていうのは、少し検討したいなという。
1:01:01	あれですよ。高屋さんがしてるところは、
1:01:07	大岡さんから質問された配置設計も含めて全部システム設計の中で説明しようと思われちゃってことね。
1:01:14	要は防護対象と経路も含めた1水源との位置関係とかも、全体として多分、イタレーションで答え出すんでしょうけど、とは言えたらそうじゃないように示さないといけないので、
1:01:25	全体のシステムとして、こういう位置関係だったり、含めて設計にしますけど、
1:01:31	BSM設計の中でやろうって。
1:01:33	いうことで、
1:01:35	規制庁。
1:01:46	から3ページでございますでしょうか。はい。
1:01:55	ペイジーの、
1:01:58	上の項目に関してもこのくらいの1水源の話だと思うんですけども、
1:02:04	これもちょっと、
1:02:06	ごめんなさいよっていうのが曖昧ではあるんですけど、この不具合の1水源に関しては、

1:02:11	2年8番、
1:02:30	一番、
1:02:31	もう、
1:02:35	次、ツジをどう設定するのかっていう話とか、あと
1:02:41	その横で実用まで並べてると。
1:02:45	では局所的な評価っていうのをやってる一方下に、
1:02:48	再処理においては不要ってしてて、
1:02:51	そういったところの説明がまだできてないと思うので、そういったところ説明が必要な事項として、その対応がわかるように、
1:03:00	どこで説明していくのかっていうのは
1:03:03	わかるように示していただければと思うのでお願いします。
1:03:06	はい、高屋でございます。承知いたしました。対応方針の中で、はい。27番、28番で行っていくと。
1:03:13	説明し、
1:03:15	説明するということを明確にして、
1:03:22	いない。
1:03:23	薬品の方でも、
1:03:27	確か、造園の扇形た画像とかのコメントリストの別紙で議論してたところもあったと思うのでそれも
1:03:38	同じような扱い、レベル感ですけど説明が必要な事項としてお願いします。
1:03:45	はい。
1:03:45	日本原燃の高谷でございます承知いたしました。
1:03:51	4ページの上の欄、上の事項に関して規制庁側からございますでしょうか。
1:03:59	続いてちょっとプールの話は後で。
1:04:03	したいのでちょっと一旦飛ばして、
1:04:08	ページ、
1:04:10	です。
1:04:17	ペ2の上の項目に関して、
1:04:27	5ページに関して、規制庁側からございますでしょうか。
1:04:32	感じです。
1:04:33	現地確認に行った時に、通常、

1:04:38	ここで岩手県のカッチか何か発注があつて、もうちょっと見直すという話をその場で聞いて考えますみたいなことを言われたイメージなんですけど
1:04:49	そういったところで要は一時的に取り外し蓋の話の定義をしたはずで、要はないもので整理しますよという、こちらの権限の考え方だと思うんですけど。
1:04:58	アンリユウ法であるとか、点検用の8とか結構いろいろあると思ってるんですけど、そういったところはどうされようとしてるんすか。
1:05:08	はい。
1:05:09	植野高井でございます。点検搬入等のHatchというところについては、条件として
1:05:18	基本的にはもう、
1:05:19	常に溢水経路として、開口どういう、
1:05:25	常に溢水量として整理するということで、開いてる状態に
1:05:31	設定するというので、条件をしようとしています。
1:05:34	水密ハッチに関しては評価対象設備の見直し等、
1:05:40	があります。有井、申し上げた、
1:05:44	支援をしないという場合がありますのでそれは共通、12の中の資料にどうか。
1:05:49	整理したい。
1:05:54	そのサービスを日生協として考慮するというのであれば、多分下に行かなきゃいけないってことで、そこに防護対象の何かいると思うの泥酔に対して対策をするなり何かするっていうのを考えられている。
1:06:09	はい。乳井の高井でございます。推計では、その防護対象ということで整理をしようというふうに、
1:06:18	はい。
1:06:19	長参事ですので、ちょっとどういう位置関係になってるかわかんないですけどその位置関係や対策とかが御説明あるということを理解しましたっていうのと、
1:06:28	あとこれも現地確認でも少し見たんですけどグループのフロアでの中越沖タナカ対策で、
1:06:35	仮設とも言えないようなしっかりした石みたいな方もいると思っていて、
1:06:39	別に社長がいること自体は構わないと思ってるんですけど、
1:06:43	今水は、別々の範囲に行かないようにそこにいるんですけど、あれはイトウ様は、

1:06:49	石毛の手前側のところ、井坂さんは高く当然になってしまうと思うんですけど、要は申請書上とかで出てこない。
1:06:58	障害物というのは、構造物というか、そういったものっていうのは、どうやって考慮するのかさっきの配管とかはどういうふうになってんのっていうのと一緒に一緒なのかもしれないですけど、
1:07:09	アイザワなんかの系統図とかもあって、何となく追っかけられるんですけど、
1:07:13	他の対策も、何かしら図面に起こしていると思います。
1:07:21	私、
1:07:27	評価とかに期待しちゃってるもの。
1:07:30	期待している以上、特に何がいいかを示して、
1:07:34	今度何も登場しなくなっちゃう。
1:07:36	音が見つからない。
1:07:38	ここは、
1:07:39	説明すると。
1:07:40	はい。
1:07:42	日本原燃の葛西でございます。折衷送金、はい。井関とか、そういうところについては
1:07:49	そうそう倍率ではないんですけど構造物として、整理をしてそのS影響評価に影響を
1:07:57	場合にはこう整理して説明するという
1:08:04	ササキです評判を期待したいものに関してはわかりやすいんですけど、期待したくないけどそこに存在しちゃってるものとかも、特に基盤家それぞれどう定義するのか、新開推進専務執行役員寄付してるのかっていうところは整理いただければと思います。
1:08:20	日本原燃の高井でございます。
1:08:26	院長ヤマグチですとか、
1:08:29	ページまでで規制庁わかりますでしょうか。
1:08:45	形。
1:08:46	経理に関してなんですけども、
1:08:55	が水の流入に関する、防護設計に関して、
1:08:59	以前、オカ確認はしたんですけども、基本的に防護対象がいる
1:09:06	その対象施設Ⅱに対しては、6割で発生する溢水に対して基本的には、その建屋内への流入を防止するっていうのを、

1:09:14	してる中での地下水の流入に関して一部はやっぱりその建屋内に入ってしまうものがある、なので
1:09:23	設計とし、
1:09:25	方針としては、またその流入、
1:09:30	家への流入防止だけじゃなくて流入した場合に、防護対象に対して影響を与えないようにっていうところで、
1:09:38	方針示されると思うんですけども、それって具体的にどういうところっていうのは、
1:09:44	簡単にこのパターンとかって、
1:09:46	見えてきますでしょうか。
1:09:58	ただし書きに書いてある。
1:10:01	なお、
1:10:07	そうですねここで、
1:10:12	このただし書きで書いてあるところっていうのは、基本はないって言いながら、ただし、
1:10:20	特に道道で繋がってるところはイメージ的にはそうですね道路が繋がっていきなり部屋みたいになったり、何か境目が境界が通ってないんですけど、
1:10:30	普通は配管、これ配管なんか配管主蒸気ってボックスに入って配管がいて、壁をカウントしてるだけなんで、あんまりそれが来てもどぼっと来るって意味じゃないんですけど。
1:10:41	何でしょうね、物が例えば道路動くようなキャニスターで物を運ぶとかっていうのと、入ったら多分建屋は入口は部屋なはずで、1年そこが壁で区切られてるわけじゃないはずなので、
1:10:54	そういったところを多分考慮しないといけないってことが言いたいんじゃないかなと思いますけど、はい。
1:10:59	基本は館穴井のもしなければそういう労働とかんところには、そういうのがあるっていうことで、
1:11:07	こういったところはアノせ。
1:11:09	今、
1:11:11	設計方針だ。
1:11:15	基本設計方針だと。
1:11:18	屋内への流入の防止ってかい。
1:11:21	てるのかちょっと、どういうまとめ方してたのかちょっと。

1:11:26	ずれてしまったんですけども、そういった場合もあるってということで設計方針でこう読めるようにっていうのは整理をお願いします。
1:11:38	院長の二見です。ここで言ってる輸入防止措置っていうものですか。
1:11:48	はい。日本原燃の高谷でございます。具体的な設備についてすみません、六ヶ所の方から何か。
1:11:54	お答えできますでしょうか。
1:11:58	日本原燃田仲です。はい。設備はですね積になります。
1:12:03	どうもしてる。
1:12:04	防護するための席ははい、関になります。
1:12:08	店長、佐治です。この席っていうのは、どうどう中にある。
1:12:13	カセが導入してどこに設置するイメージかが言ってよくわかんなかったんですけど、建屋の入口なんじゃない。違う。
1:12:24	タナカ分。
1:12:26	日本でタナカです。衛藤。
1:12:29	壁から真ん中に水が入ったとしてその内側のケアから、防護対象。
1:12:36	設備がある。
1:12:38	部屋の入口のところに堰をつけるイメージで、
1:12:42	タジリウツミ終わりました。
1:12:44	ちなみにそういった時の地下水の流入量とかっていうのはさっき言ったサブドレンでもそういうのも含めて整理して、それにみあった高さを持った責任がないっていう。
1:12:57	ちょっと技術、また今後確認していきます。
1:13:04	規制庁山内です。
1:13:07	このページで規制庁側からございますでしょうか。
1:13:14	7ページに関してで、
1:13:24	対策設備に関してなんですけども、
1:13:28	これも以前ヒアリングで確認したんですけど建築と聞いて偽計の説明2はその設置不要新規の設置不要だっていう説明する際にその通常運転時の監視とか、現場巡視によって、
1:13:42	それによって対応できるからっていうような、
1:13:45	説明とも読めるんですけど、これは
1:13:49	通常運転時の監視とか現場巡視、C、
1:13:54	なっても、
1:13:57	大、安全上、

1:14:01	安全機能を損なわないのか、これはマストで必要なのかとあって、もうちょっと具体的に説明いただけませんか。
1:14:13	特に気になってるのが、真崎シノザキさん少し、
1:14:18	発言あったんですけどDVにおいてはアクセス数、必要なところありませんみたいなことを言って、
1:14:28	アクセスしナイトウ安全上影響があるのであれば、
1:14:33	それは必要だと思っててそこの関係もちっとよくわからなくて、
1:14:39	いかがでしょうか。
1:14:42	はい。
1:14:43	高井。
1:14:47	漏えい検知及びの設置不要というところについて、
1:14:53	まず、通常運転時の監視とかそういうところの現地は
1:15:01	保安規定に基づいてそこでや、
1:15:06	の発見とかについて、
1:15:08	弁護士やってます。それに対して、漏えい検知から休憩をつけています。なので、ところの、
1:15:16	申請表というところでは、
1:15:20	設置不要というところで、整理していくという
1:15:24	考え。
1:15:32	設計のバーターをしてるんですよ。
1:15:34	%をしている場合に、
1:15:37	束を預けてる人は別に何も担保要件なくて、担保されてないんですよ。
1:15:43	安全設計の%になり切ってなくて、
1:15:48	これってやってことなのっていう話になって、
1:15:51	SEみたいな所、通常時を超えた世界でやるのは、あの人の運用と、その設備と、これはもうあり得ると思うんですけど、DBの世界でこのコラボって、
1:16:02	やって本当に大丈夫なのかってのが不安で、
1:16:06	設備の担保何もないんですよ。
1:16:09	1人掛ける100%で、
1:16:12	その安全設計のパターンって普通矢田じゃないかなと思いながらそれを、
1:16:16	黄色でやろうとしてるところが不思議でしょうがなくて、
1:16:20	町のタジリつ今話出ましたけど、

1:16:24	はい。
1:16:25	監視してるんで大丈夫ですっていうのは、阪神のサイトに戻すインチキアマンノ警報であって、
1:16:32	それとっばらって監視してるんでいいんですっていうのがそもそも意味がわからなくて、
1:16:36	普段見てるんでって言うていいんだったら、御社で傾向なんて一つもないんですよ。
1:16:42	パラメータ見てない、そうそうないんで、
1:16:45	融資の方に関しては、30 億ぐらいあって、80 万漏れても大丈夫なようにちょっと書きましたところ言ってるんですけど、それヨーロッパのところまで思うわけですけど、系統間がよくわからないし、
1:16:57	何か、何を担保に何ドルぐらいの量を見積もるからOKですよって言うてるのかわからずに、いらんですよって言うてきてる状況になってるので、
1:17:07	もうちょっと根拠を持って方針を示していただけたらいいかなと思って。
1:17:12	はい。農業の高田でございます。
1:17:13	失礼いたし
1:17:15	はい。
1:17:16	ほぼきちんと、
1:17:21	沼口です。
1:17:23	ですね、ちょっと
1:17:25	今新規の漏えい検知系は設置ありません。以前、
1:17:30	抜きにしても、そもそもその通常運転時の
1:17:33	DBでアクセスありませんと言ってる一方そういう通常運転時の監視とか、そういうのに期待してる。これに期待しないと安全機能に影響があるものがあるのであれば、
1:17:44	相当担保するかってそれであればその監視に関連する設備、検知とかの設備とかどう扱ってるのかっていうところはちょっと一連で整理いただいて説明していただきたいのでよろしくお願いします。
1:18:09	か。
1:18:10	7 ページまで規制庁側からありますでしょうか。
1:18:20	よろしければ続いて 8 ページ。
1:18:32	岩佐さんの、
1:18:34	その前提にちゃんと対応方針のところを示していただき、くださいっていう。

1:18:39	ご訂正いただいて、
1:18:44	要は、
1:18:49	ことで、
1:18:57	9 ページの 1 頭、一番上の、
1:19:02	項目で床勾配の話なんですけども、
1:19:07	これ、もう結構これまででのヒアリングで論点として話を出して行ってヒアリングでも一度説明いただいたんですけども、ちょっと説明不十分でもしかりにはなっていると。
1:19:19	と思いますが、そのときに、設計の方針とか、まずは実用炉との差があるので、それぞれ何を、実用炉においては何を保守、
1:19:29	何も
1:19:31	ばらつきとかを考慮したところで保守性担保している中で再処理においては、それをどう考慮しているのかを整理いただいてどうするか、説明してくださいってことなんですけども、この対応としては今上司はいかがでしょう。
1:19:46	はい。日本原燃の阪井でございます。
1:19:48	対応方針に書かせていただいている通り横ばいの高さ、設計上、最大の高さとして対応して、その井清を設定するってところが、基本的な考え方でそれをどう
1:20:01	計算していくかっていうところについては、改めて補足説明資料とかで提示をさしていただいて、説明するのがいいのかなと。
1:20:09	おりますので、
1:20:15	県庁ヤマグチです。
1:20:20	溢水量の、
1:20:22	高さ決める上でも重要な
1:20:25	決めないといけない項目にはなるのでその考え方っていうのはしっかり早めに説明いただければと思うのでよろしく申し上げます。
1:20:37	日本原燃高井ものを周知いたします
1:20:40	一応今の関連してないんですが、MOX、
1:20:44	ミナガワも、
1:20:45	今、第 1 回申請で出てきていると。
1:20:49	説明されようとしてる。
1:20:52	こちらで、
1:20:53	説明して、

1:20:56	はい、梅野石原でございます。はい。おっしゃる通りですね、漏えい技能経済だとかの評価ですかねそこでもうMOX側でも、この床勾配の考え方、使わないといけないところもあって、
1:21:09	ただ今、
1:21:11	説明の順番がどうだっというのを言うのもあるんですけど、グローボックス先にやるので、グローボックスをどういう風にあんまり関係なくて、実際は他の漏えい検知器ですかね。
1:21:23	出てくるところは、それやんなきゃいけないので、それも含めてちょっと
1:21:27	どっちで先にやるかは考えます。はい。作成が終わったら、
1:21:31	規制庁同じ考え方は変わりませんということです。はい。はい。
1:21:45	尾藤です。あとちょっと、
1:21:50	金子支店なんか、
1:21:52	出てきてまして、支店の扱っていろいろ
1:21:56	は同じ。
1:22:02	共通順位として、
1:22:05	ニシダでございますはい。これは共通的な考えで整理をしようと思っておりますが設計で、2-1、資料3の中で設計として担保しなきゃいけないことを書いて、
1:22:16	それが担保できてるかどうかを試験で確認するか評価で確認するかの違いだと思ってるので、そこは資料4側でやろうと思ってました。それが審査会合での解析評価等ってアノ等をつけたところが、
1:22:29	私これだと思っておりますので、資料4があると思ってました。
1:22:33	わかりました。
1:22:53	藤市長山口です。
1:23:02	衛藤。
1:23:03	9ページの、
1:23:05	9ページまでが規制庁側からありますでしょうか。
1:23:18	特によろしければ、
1:23:22	下のところも、どの資料に展開するのかっていうのを整理いただいと 思います。阿藤は戻って蓋の話。
1:23:34	入りたいんですけど、
1:23:36	もう少ししたら、
1:23:38	戻られるそうなんですけど、
1:23:49	規制庁岡です。

1:23:50	具体的なところ。
1:23:59	コメントリストからそちらの方針、
1:24:04	水に対するコメン
1:24:10	整理。
1:24:13	情報。
1:24:15	対しては、
1:24:17	逆に出たコメントで約束特化したものだけ回答するような感じには、
1:24:30	これは役員目標作ってしまう。
1:24:36	嬉しい。
1:24:39	はい。
1:24:43	微妙にそのもともと関連用品がなくなっているのでもそこは明確に
1:24:52	金関連はどうかっていう
1:24:56	最後、はい。
1:24:59	はい。考えたいと思います。
1:25:02	No.の先ほど、
1:25:05	ヒアリング、
1:25:06	追記して、
1:25:25	おっしゃってるけど、
1:25:26	この番号。
1:25:28	逆に、
1:25:30	過去1回、
1:25:33	そうですね。
1:25:36	イベントリストでも約2も展開しないといけないものっていうのは多分、わかるようにするかと思うので、そこら辺が、
1:25:54	的に頭でお伝えした通り、全体整理が必要なん。
1:25:59	では、あれで何か確認で音が確認したい。
1:26:03	ありますでしょうか。
1:26:13	所掌。
1:26:14	はい。
1:26:16	ください。
1:26:17	丹野コンペします。
0:00:01	距離が再開します。
0:00:04	山内です。4ページのプールのスロッシングの件に関して、

0:00:13	ください。
0:00:14	まず、このまとめ方として冒頭に伝えた通りその蓋とか姿勢今の設計っていうのはまず解析。
0:00:23	評価が、
0:00:24	今したシバの設計があつてそのあたり制限溢水量の設定評価、防護対象にした。
0:00:32	間対しての評価っていうのはあると思うので、
0:00:35	その
0:00:37	設計としての、
0:00:39	考慮と評価等の仕分けっていうのを整理して、いつも一つでまとめられてるんですけど。
0:00:48	仕分けて対応をお願いします。
0:00:51	等、
0:00:52	まず今回、示された。
0:00:56	方針としては、
0:00:59	一時的に取り外す蓋みたいのはないようにして、常に、
0:01:06	付け、
0:01:07	ところだけ固定して、
0:01:10	枚数減らしてっていう、
0:01:12	減らすその結果いつもちょっと減った形にはなるんですけども、
0:01:16	それぞれDDS許可整合の観点で、今回のこの設計っていうのの説明、
0:01:24	するのかっていうところをご説明いただきたいのですが、いかがでしょうか。
0:01:30	はい。
0:01:32	表現でございます。
0:01:34	まさにこの
0:01:38	今回の取り外しという
0:01:41	どう、
0:01:42	浮き上がり防止こうこつけるというところ。
0:01:45	についてその他の整理というところを、うまく説明できていないというふうに思っています。それから考え方の
0:01:56	っていうところを、今は指名しことができてなくてですね。
0:02:01	そこは何がやりたいかっていうことしか言えていない状況でございます。もう少しそこは補足説明資料等でですね、そこ、

0:02:13	考え方、許可からの整合、この設計でよいという妥当性みたいところ、説明を改めてさしていただければなというふうに考えて、
0:02:26	先生は間口です。
0:02:28	今回こういうます。
0:02:31	設計するにあたって、許可でどういうことを言っていて、それで、
0:02:36	それも相手の設計で整理されてるとは思うんですけども、特に今、その許可でどういう約束してそれをどう解釈して、今、こういう時にしますっていうのの説明は現時点でできないっていう、
0:02:52	該当でしょう。
0:02:53	タカヤでございます。
0:02:56	全体を整理中だというところで整理してからご説明した方が良いというふうに考えております。
0:03:04	はい。その中でですね、ベビーの条件の移転、あと、SAのFDSの
0:03:12	評価というところで、新たな申請、あと、
0:03:17	要求事項というところは整理して確認を、
0:03:22	はい。
0:03:23	ええ。
0:03:24	に対して検討を行っているそうです。その適合性についてご説明をしたい。
0:03:32	ごめんなさい。
0:03:36	まだ
0:03:38	原燃プロパーこれまでの担当者の言い分に影響され過ぎてるかなと思うんですけど。
0:03:44	解析して大丈夫なことを説明しますとそんなのは当たり前で、
0:03:48	だけど、あなたたち本当にジョウユウ要求、理解してると。
0:03:53	説明しますって言ってるその方針は、ちゃんと合ってるのっていうことを聞かれています、
0:04:00	そんなことを聞かれる状況だからこそ共通 12 っていう羽目になる。
0:04:06	Steeringチームを結成する羽目になり、タカヤさんが呼ばれていると。
0:04:12	いう状況なわけですから、
0:04:16	まずは結果を示すではなくて、
0:04:19	こういう方針であって、こういう対応をとって、
0:04:24	行くことにして、今作業をしています。
0:04:26	ということ自体を、

0:04:28	入口としてすぐ説明すべき。
0:04:31	ということです。
0:04:33	その中にその基本設計方針っていうだけじゃなくて、ちゃんと許可と踏まえてくださいねと。
0:04:40	で、
0:04:41	特に今日、重大事故に対しては、位置構造設備のところでの方針だけじゃなくて、事故の点、
0:04:52	松井です。原発本部 8 号、デマチ、
0:04:55	の記載事項も踏まえて、しっかりと方針、
0:05:00	設備としての方針が、清土肥。
0:05:04	込まれているのかどうかと。
0:05:06	いうことを数ヶ月前とかに話をしてあってですね。
0:05:10	その時には、00 資料の別紙 1 の中で、
0:05:17	8 号部分どう取り組んでいくかという話をしている、あのときの議論からしても取り込みを忘れてましたみたいな感じだったような気がするんです。
0:05:27	そうだとすると、このスロッシングについても、
0:05:30	十分反映しきれていない状況なんじゃないかな。
0:05:34	で、
0:05:35	共通 12 農作業淡々とやっただけでは多分漏れてくる可能性があるの で、
0:05:41	全般見渡してこういう関係があって、整理をしていこう。
0:05:47	まずっていう、これも最初にお話した、DBSAの
0:05:53	中での評価の溢水の場合は
0:05:57	詳細設計での評価の部分でしたけど、線については、許可時の評価の 条件というところも含めてやらなきゃいけない。
0:06:06	ということなので、大きな論点になってるんだと思うんですね。
0:06:11	なので、そこら辺も先ほどのDの方での評価、設計評価ってのまず最初 にと。
0:06:19	言ったのと同じように、SAの方でのソーシングの扱いみたいなものは、 早々に整理をして、
0:06:28	設計でこうしたいっていうものが、
0:06:31	示してるわけですからその関係性っていうところもあわせて、
0:06:34	概略、

0:06:36	認識状況を、
0:06:39	いただきたい。
0:06:41	ということなので、それも早々の整理、
0:06:45	おそらく議論が必要になると思うんで、対応お願いし、
0:06:52	課題でございます。はい。
0:06:56	はい
0:06:59	説明の方が
0:07:04	心配。井内から
0:07:07	はい、臼井の方の整備。
0:07:11	そういうお示しできればなという。
0:07:14	ます。
0:07:17	規制庁、迫です。それで言うと、清川の許可で、
0:07:24	プールの対策を検討した方とか、そういう方も参画していただく必要はないんですけど、
0:07:34	はい、弓削西平でございます。一斉チームで言えば、溢水の話をする とSAの話もしないといけないので、タマウチ含めSAをやった人間を全 部ジョイントさせてやっていますので、
0:07:47	そこにはプールをやった担当も含めて入ってます。
0:07:51	今言われたのは、そうですねおっしゃる通り、漏えい抑制設備としても もと水盤とかふたをエントリーして、常設重大事故と大切にしている んな漏洩量はその設備を前提に、
0:08:04	多分評価をしていたのが、
0:08:06	ふたがなくなりますって全部の評価条件火炎のかよみみたいな話になる ので、その許可で約束した条件との関係も含めて整理をさせます。は い。
0:08:19	その整理の、
0:08:22	タカヤニイタニ。
0:08:24	アノタカヤがちゃんと自分で自分の目で確認して、しないと、今ずっと答 えになってないのが、
0:08:32	タカヤのみで確認してタカヤ。
0:08:36	はい。
0:08:36	細田です。よろしく申し上げます。高屋さんとしては、原燃の状況を聞く という時に、溢水担当者だけではなくて、SAの全体整理のため
0:08:47	当社たり、プールの重大事故対象、

0:08:50	について検討した担当者だったり、
0:08:52	各所いるんだぞということを念頭に対応いただければ、
0:09:00	承知いたしました。
0:09:03	院長山内です。
0:09:06	はい。今の議論で、
0:09:10	全体的にやっぱりそのため、
0:09:14	に対して、講師、
0:09:16	言えない。
0:09:17	大矢。
0:09:19	大北カセン対してこうします。
0:09:21	藤Dが結果を、回答されるのが多いんですけどもまず減免で許可でどう いう、
0:09:28	たかっていったかも
0:09:29	した上で、それに対してどう設計したのかっていうのをちゃんと、それか ら説明していただいた上で、認識した上でちょっと説明いただきたいの で、
0:09:40	立岩全体に対しても、
0:09:42	ソネアノ
0:09:45	はい。五味。
0:09:48	まさにご迷惑をおかけしてるところであります。
0:09:52	条例からの整理というところは、はい。速やかにやっていて、
0:09:56	制度的には、
0:10:00	宮内です。ちょっと全体通しでも規制庁側から確認ございますでしょ うか。
0:10:13	懸念が若い振替李なんですけども、冒頭で言った、
0:10:20	ような内容で
0:10:21	全体認識ずれといったところを整理いただく。
0:10:25	と思うんですけども、
0:10:29	かっていうのを簡単にご説明。
0:10:33	いただきますともう休憩必要でしたら一旦、
0:10:38	はい。日本原燃の高でございます。今回、いただいた部分を踏まえて対 応方針を整理していくという
0:10:47	ことだと思っています。

0:10:49	冒頭であった通り、そもそものタスクというところの整理っていうところを しっかりやらないといけませんし、本日いただいたコメントの趣旨も、
0:10:59	セ許可から含めてちょっと整理をしたいというふうに考えております。
0:11:05	なのでちょっと作業方針、振り返りというところについては、改めてちょっ と社内で整理をさせていただいて、
0:11:15	ご提出させていただければなというふうに考えて、
0:11:19	後で出すのは構わないんですけど、ここで少なくともタカヤさんが何が 対応方針として、必要かってことをちゃんと言ってくれないと、
0:11:29	そのために時間をおいた方がいいですから、向こうで多分対応方針と か名簿を作っているんで、それ見て確認していった方がいいか、今当座 で逃げるか、
0:11:40	いや、
0:11:41	割とポイントを取ってもらわないと。
0:11:44	僕です。
0:11:46	具体対応方針は、今回提示してもらったやつをリバイスするということ で、見せてもらう必要があるんで、
0:11:56	しかもそれは 00 資料としてはどうですかったり、それなりに考えて、まと めないといけないので、それは後で、
0:12:05	しっかり提示してください。
0:12:07	ということなんですけど。
0:12:09	その提示時期はっていうのは、多分、
0:12:13	担当者含めて認識を合わせた上でないとまとまらないと思うので、今、 何日っていう必要はないと思うんですけど、
0:12:24	一方対応方針を整理するにあたり、どういう方向性かと。
0:12:30	いう認識は、今日高谷さんがどう思われたかっていうことは、話をして欲 しいなど。
0:12:37	それが一認識共有できてれば、対応方針整理できそうだな。
0:12:44	ということで、お帰りいただいて、社内で議論をして、須貝に、
0:12:50	対応方針、
0:12:51	提出しますというようなことをご連絡いただければ、
0:12:55	理解できる。
0:12:59	車です。
0:13:00	今週の進め方、
0:13:06	戻って話したらこうでしたみたいな人もあるんで、

0:13:10	していただければ、
0:13:12	特にそのときには、
0:13:14	共通 12 の前倒しというかですね、前段階でやるべきことをこういうパーツに分けます。いつぐらいにやっていきますっていうところは少し具体的に聞かせてもらいたい。
0:13:27	ということ自体、ずっと振り返って行って、そこかなと思います。
0:13:33	ちょっとすいませんって言っちゃいましたけど、
0:13:37	この手前の部分、
0:13:39	どういう作業プロセスが必要だという認識だったり、
0:13:43	そのあたり、
0:13:44	少し高い。
0:13:52	はい。
0:13:55	はい。乳井高井でございます。
0:14:01	共通 12 の対応方針というところで記載してしまいましたがまず、全体の整備というところを進めていきます相当の施設としまして、
0:14:10	まず、
0:14:13	具体的に、
0:14:16	共通準備を進める上で、何、何が整理しなければならないのかっていうところの項目を、対応方針で抽出をしていきたいというふうに思います。
0:14:30	その整理を行いつつ対応方針を示して、部隊、対応方針で
0:14:38	説明資料等でこれまで説明してきたものについては、具体的な説明というところを、いわゆる準備を進めたいなど。
0:14:45	その明確化というところを、すみません、これまで補足説明資料でっていうのはこれまで補足説明資料まだ受けてないですよ。あるのは、
0:14:56	各条 00 資料ぐらいで、
0:14:59	そのときに疑問に思ったところをどう対応するかといったときに、補足説明資料をつくる気がなさそうな共通順位だけで、そもそもみたいなメモを今回出されたんで、その部分を補足する。
0:15:12	売るつもりなのか、その部分は、C共通順位でやるつもりなのか。
0:15:19	00 に反映するつもりなのか。
0:15:21	いうことをまとめて、
0:15:24	来るっていうこと。
0:15:26	で、これまで補足説明資料があっっていうところはちょっと間違いなくて、

0:15:32	考え、
0:15:33	入居整理をし直して、
0:15:35	はい。
0:15:36	で、もう一つは、
0:15:39	事前に整理をしておかなきゃいけないことっていうのを、今日、大分、
0:15:46	頭の整理をしたつもりなんですけど、そのあたり、どういう項目が必要かっていう
0:15:58	どういう項目で分けるかは、この後考えないんですけど、大枠としてどう
	いう。
0:16:06	はい。
0:16:06	海野高井でございます。
0:16:08	はい。今後のその対応方針として、今の評価設計統制するごとに整理
	してますが、溢水として、
0:16:19	必要な整理というところは、水源とか経路とかも含めて、複合的なところ
	もありますので、
0:16:26	縦軸の整理事項というところを明確にしてそれで共通住民の方に繋がる
	ような対応方針をまとめていきたいなど。
0:16:41	アカサカです。それは大丈夫だって、それを踏まえながら、ADDD設計
	として説明しなきゃいけないところをしっかりと抽出するというところが、
	抽出漏れがないか。
0:16:54	その根本はあの表カーでの方針になっているところを、
0:16:59	設計配慮が必要なものを、
0:17:03	その部分が作業として認識できてるかという。
0:17:08	その上で、SAとの関係っていうのを作って、
0:17:13	いう
0:17:15	プラス、そのクラスではそんなかもしれないんですけど先ほど言った編
	成の状況も踏まえながらのスロッシング、はい。
0:17:24	藤が、
0:17:26	まずはやらなきゃいけない
0:17:28	んで、その進め方っていうのを、今日明日考えてね、進め方っていう
	ところで、
0:17:35	少し、
0:17:40	はい、犬飼でございます。
0:17:51	先生、山内です。

0:17:54	藤。
0:17:56	全体を、
0:17:57	通して、
0:17:59	清町側から他ございますでしょうか。
0:18:03	原燃側もよろしいでしょうか。
0:18:06	じゃあこれで本日のヒアリングを終了しますので録音を提出します。